

遠野市環境整備部インフラ管理白書



平成 27 年 2 月 清養園クリーンセンター



平成 27 年 2 月 遠野市斎場 永遠の丘

目 次

I インフラ管理白書の作成目的

遠野市は、総面積825.6km²という広大な地域で東西約38km、南北38kmで北上高地の中南部に位置している。

主要な幹線交通網は、花巻市と釜石市を結ぶJR釜石線と並行する国道283号が横断するほか、国道107号が大船渡市方面に、国道340号が宮古市へ、国道396号が盛岡市へと延びている。さらに復興支援道路として東北横断自動車道釜石秋田線の整備が加速しており、宮守ICまでが供用開始されている。

このことから、市としても幹線道路に接続する市道改良等が大きな課題として浮かび上がっている。

市が管理するインフラを白書化し、老朽化の現状等と今後の対応課題を把握するために作成する。

II インフラ管理白書の対象

市環境整備部が管理する「道路」「橋梁」「上水道、簡易水道」「下水道」「公営住宅」「斎場」「クリーンセンター」を対象とし、規模や劣化状況を分析して、管理状況を明らかにする。

III インフラ施設の管理数量…………… P 1

IV インフラ施設の現状、施設維持管理経費、経年劣化状況等…………… P 2

- 1 道路・橋梁・公園・都市計画区域…………… P 2
- 2 水道施設…………… P 8
- 3 污水处理施設(下水道、農業集落排水施設) …… P 12
- 4 公営住宅…………… P 15
- 5 斎場…………… P 21
- 6 清養園クリーンセンター(ごみ焼却施設、し尿処理施設、廃棄物再生利用施設、最終処分場、保養センター) …… P 24

VII インフラ施設の今後改修見込と概算費用…………… P 35

- 1 道路・橋梁…………… P 35
- 2 公営住宅…………… P 36
- 3 水道施設…………… P 37
- 4 污水处理施設(下水道、農業集落排水施設)…………… P 37
- 5 斎場…………… P 38

Ⅲ 管理数量について

対象施設	分類	管理数量	単位	備考	
道路	車道延長	1,291.327	km	道路台帳	
橋梁	車道橋	473	橋	道路台帳	
	車道橋延長	9.102	km		
水道	上水道	379,168	m	管路延長	
	簡易水道	小友	47,769	m	管路延長
		附馬牛	19,613	m	管路延長
		上郷東部	10,469	m	管路延長
		宮守	118,476	m	管路延長
		達曾部	29,570	m	管路延長
		計	225,897	m	管路延長
下水道	遠野処理区	409	ha	整備済面積	
		89,869	m	管渠延長	
		4,200	m ³	汚水処理量(m ³ /日)	
	宮守処理区	56	ha	整備済面積	
		17,547.20	m	管渠延長	
		900	m ³	汚水処理量(m ³ /日)	
農業集落排水	綾織地区	110	戸	整備戸数	
		5,507	m	管渠延長	
		135	m ³	汚水処理量(m ³ /日)	
	沢田飯豊地区	157	戸	整備戸数	
		10,009	m	管渠延長	
		204.6	m ³	汚水処理量(m ³ /日)	
公営住宅	遠野エリア	119	棟	(379戸) 市営住宅台帳	
	宮守エリア	72	棟	(81戸) 市営住宅台帳	
	特公賃	6	棟	(6戸) 市営住宅台帳	
斎場		1	棟	鉄筋コンクリート2階建延床面積1,487.43m ²	
清養園クリーンセンター	ごみ焼却施設	1		流動式焼却炉	
	し尿処理施設	1		高負荷脱窒素処理方式(限外ろ過膜方式)	
	廃棄物再生利用施設	1		堅型高速回転式破碎機等、	
	最終処分場	1		埋立容量37,600m ³	
	保養センター	1		余熱利用入浴施設併設	

IV インフラの現状について

***** 道路・橋梁・公園・都市計画区域 編 *****

1 遠野市の市道等

(1) 市道の現況 (平成26年4月1日現在 建設課調べ)

区分	路線数	実延長 (km)	改良済延長 (km)		舗装済延長 (軽舗装を除く:km)		橋 梁 (km)	
				改良率		舗装率	数	延長
1級市道	52	134.302	127.547	95.0	127.260	94.8	65	1.943
2級市道	56	101.231	83.664	82.6	84.997	84.0	54	1.225
その他市道	1,999	1,055.794	410.706	38.9	363.833	34.5	354	5.934
計	2,107	1,291.327	621.917	48.2	576.090	44.6	473	9.102

(1-1) 市道の現況幅員別 (平成26年4月1日現在 建設課調べ)

区分	改良済延長					未改良延長				
	19.5m 以上 (km)	13.0m 以上 (km)	5.5m 以上 (km)	5.5m 未満 (km)	計 (km)	5.5m 以上 (km)	3.5m 以上 (km)	3.5m 未満 (km)	計 (km)	自動車 交通不 能 (km)
1級	0.063	0.279	93.424	33.781	127.547	0.253	2.972	3.530	6.755	0.000
2級	0.007	0.016	16.063	67.578	83.664	1.254	4.395	11.917	17.566	1.385
その他	0.064	0.392	93.721	316.529	410.706	4.518	60.410	580.159	645.087	230.623
計	0.134	0.687	203.208	417.888	621.917	6.025	67.777	595.606	669.408	232.008

(2) 農道の現況 (平成26年4月1日現在 建設課調べ)

路線数	実延長 (m)	舗装済延長 (m)	橋 梁	
			数	延長(m)
170	77,031	38,341	12	324

(3) 林道の現況 (平成26年4月1日現在 建設課調べ)

路線数	実延長 (m)	舗装済延長 (m)	橋 梁	
			数	延長(m)
42	186,381	64,607	14	249

(4) 都市計画道路の整備状況 (平成26年3月31日現在 都市計画課)

路線数	決定延長 (km)	改良済延長 (km)	改良率(%)
27	41.140	19.320	46.7

(5) 都市公園 (平成26年3月31日現在 都市計画課)

番号	公園名	種別	計画面積 (ha)	供用面積 (ha)
2・2・1	中央公園	街区	0.22	0.22
2・2・2	東館公園	街区	0.20	0.20
2・2・3	新張公園	街区	0.23	0.23
2・2・4	早瀬公園	街区	0.23	0.23
2・2・5	八幡公園	街区	0.22	0.22
2・2・6	神明公園	街区	0.20	—
	小計		1.30	1.10
4・5・1	鍋倉公園	地区	14.00	14.00
6・5・1	遠野運動公園	運動	29.00	29.00
1	早瀬川緑地	緑地	33.60	3.10
	合計		77.90	<u>47.20</u>

(6) 都市計画区域の状況

区 分	面積 (ha)
行政区域 (平成17年10月1日)	82,562
都市計画区域	3,420
用途区域	339
第一種低層住居専用地域	64
第一種中高層住居専用地域	56
第二種中高層住居専用地域	13
第一種住居地域	95
第二種住居地域	5
近隣商業地域	29
商業地域	17
準工業地域	60
用途地域外 (無指定地域)	3,081

2 遠野市に関する国県道路の現況（平成26年6月1日現在 岩手の道路現況）

(1) 高規格幹線道路

(斜字は遠野市分を表す) (端数四捨五入)

路線名	区間	路線	基本計画		事業中		供用済	
		延長km	延長km	達成率	延長km	整備率	延長km	供用率
東北横断自動車道釜石秋田線	釜石市～西和賀町	<u>29.2</u> 114	<u>29.2</u> 114	100%	<u>26.0</u> 26	100%	<u>9.2</u> 88	76%

(2) 一般国道

(斜字は遠野市分を表す) (端数四捨五入)

路線名	起点～終点	指定年月日	実延長km	改良済延長km		舗装済延長km	
				改良率	舗装率		
107号	大船渡市～秋田県由利本荘市	S40. 3. 29	<u>20.153</u> 120.564	120.564	100.0	120.564	100.0
283号	釜石市～花巻市	S44. 12. 4	<u>44.649</u> 106.382	103.102	96.9	106.382	100.0
340号	陸前高田市～青森県八戸市	S49. 11. 12	<u>20.844</u> 201.504	171.149	84.9	184.721	91.7
396号	遠野市～盛岡市	S56. 4. 30	<u>20.936</u> 58.155	58.155	100.0	58.155	100.0
4路線			<u>106.582</u>				

(3-1) 主要地方道

(斜字は遠野市分を表す) (端数四捨五入)

番号・路線名	起点～終点	指定年月日	実延長km	改良済延長km		舗装済延長km	
				改良率	舗装率		
25 紫波川井線	紫波町～川井村	S34. 3. 31	<u>0.427</u> 58.346	31.008	53.1	33.937	58.2
35 釜石遠野線	釜石市～遠野市	S51. 10. 1	<u>11.060</u> 37.377	34.912	93.4	37.377	100.0
2路線			<u>11.487</u>				

(3-2) 一般県道

(斜字は遠野市分を表す) (端数四捨五入)

番号・路線名	起点～終点	指定年月日	実延長km	改良済延長km		舗装済延長km	
				改良率	舗装率		
121 遠野停車場線	遠野停車場～中央通	S34. 3. 31	<u>0.258</u> 0.258	0.258	100.0	0.258	100.0
160 土淵達首部線	土淵～達首部	S51. 10. 1	<u>30.878</u> 30.878	30.878	100.0	30.278	98.1
161 達首部下宮守線	達首部～下宮守	S51. 10. 1	<u>5.020</u> 5.020	5.020	100.0	5.020	100.0
174 小友米里線	小友～江刺区米里	S34. 3. 31	<u>7.949</u> 13.287	3.757	28.3	3.267	24.6
178 下宮守田瀬線	下宮守～東和町田瀬	S51. 10. 1	<u>11.038</u> 13.715	12.641	92.2	13.122	95.7
238 遠野住田線	綾織町～住田町	S48. 3. 30	<u>17.279</u> 25.637	24.038	93.8	24.038	93.8
503 遠野東和自転車道線	土淵町～東和町	H 4. 7. 10	<u>16.098</u> 19.857	19.857	100.0	1.662	8.4
7路線			<u>88.518</u>				

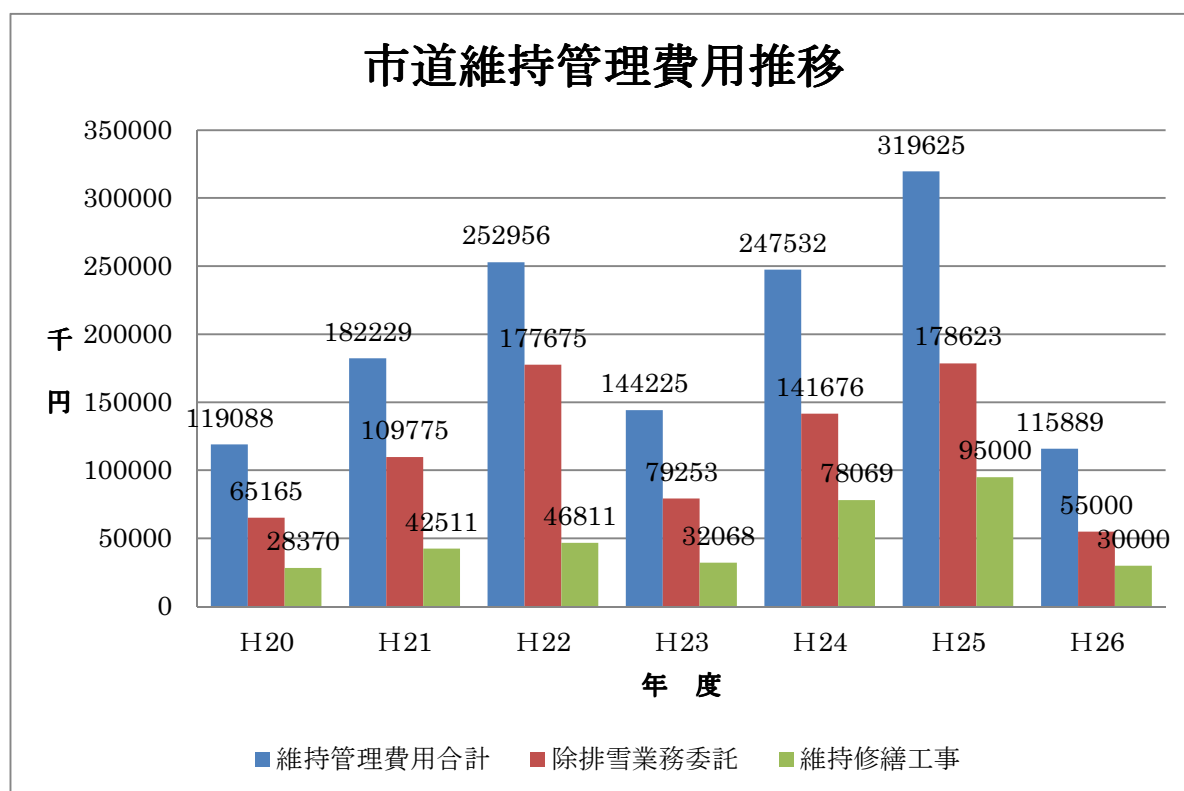
3 維持管理費の過去5年間の実績

(1) 市道維持管理費用等の推移

項目/明細	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
市道維持管理費	119,088	182,229	252,956	144,225	247,532	319,625	115,889
需用費	6,848	8,220	9,172	9,723	10,634	11,129	11,788
業務委託費	79,261	124,985	193,406	98,029	154,193	208,020	68,641
舗装パッチング業務委託	5,323	5,287	8,590	12,446	5,298	6,690	7,128
市道除排雪業務委託	65,165	109,775	177,675	79,253	141,676	178,623	55,000
道路等維持管理業務委託	8,773	9,923	7,141	6,330	7,219	22,707	6,513
市道維持補修工事	28,370	42,511	46,844	32,068	78,069	95,000	30,000
原材料費	4,609	6,513	3,534	4,405	4,636	5,476	5,460

※ 平成26年度は、当初予算額である。

- ・市道除雪費用 平成20～25年度6年間の平均125,361千円（最高:H25年度178,623千円）
- ・市道維持修繕工事も増加傾向で、対20年度と25年度では330%増となっている。
- ・需用費には、融雪施設の電気料金も含まれており、下早瀬橋歩道の融雪装置に加え、駅前融雪施設・斎場取付道融雪施設の整備により増加している。
- ・舗装パッチングも増加傾向にあり、降雪の多い年は春先にパッチング修繕も増加する。



(2) 市道等改良予算等の現状

◎道路新設等道路関係事業費推移

平成20～26年度7年間の道路建設改良事業費平均額 328,000千円

区 分		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
事業費合計		200,538	290,244	271,508	179,506	76,456	975,384	302,686
前年度 との比 較	(千円)	-	89,706	▲18,736	▲92,002	▲103,050	898,928	▲672,698
	(%)	-	44.7%	▲6.4%	▲32.6%	▲57.4%	1175.7%	▲68.9%
道路新設改良		147,916	197,891	198,908	86,585	8,662	712,068	139,856
身近な道路		52,622	92,353	49,743	49,773	67,794	112,884	152,830
市道リフレッシュ		0	0	22,827	43,148	0	61,000	5,000
橋梁長寿化整備促進事業		0	0	0	0	0	28,239	5,000
市道管理費		0	0	0	0	0	27,411	5,000

※数値は当該年度決算額に繰越予算額の合計。H26年度数値は当初予算と繰越予算の合計。

※身近な道路整備事業の平均事業費額は82,571千円／年程度である。

○ 今後の指導管理と整備について

ほ場整備事業の完了による道路移管、バイパス等開通に伴う国県道から市道への移管替えも計画されており、今後も管理延長の増が見込まれる。

また、市道本体の老朽化も目立っており、道路の維持管理（除雪費用含む）に多額の費用が掛かる状況となっている。

地域から要望のある市道改良、舗装整備については、その緊急性、地域バランス等を考慮し、整備財源を確保しつつ、計画的に整備を進める必要がある。

平成25年度策定の第4期生活に身近な道づくり計画、第3期生活に身近な水路づくり計画、橋梁長寿命化計画により、着実に整備を実施する必要がある。

○ 26年度までの道路新設等と河川費の事業費

(単位:千円)

事業等	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
道路新設等+河川費合計 (=A+B)	231,703	352,360	271,478	179,506	76,456	975,384	388,176
道路新設等事業費計(A) (=1+2+3+4+5)	200,538	290,244	271,478	179,506	76,456	941,602	302,686
1 道路改良新設小計	147,916	197,891	198,908	86,585	8,662	712,068	139,856
道路新設改良	100,393	176,663	3,068	55,081	6,505	327,795	69,928
日影新田線	44,365	976	0	0	0	0	0
桐町線	3,158	20,252	9,003	27,879	0	0	0
大工町駒木線	0	0	5,040	3,499	0	53,000	19,500
張山安居台線						37,012	33,428
宿野尻線						0	17,000
二日町小友線	0	0	0	126	0	3,000	0
道路新設改良 繰越	0	0	150,306	0	2,157	234,783	0
羽場地区道路改良	0	0	31,491	0	0	0	0
2 橋梁長寿命化整備事業						28,239	0
橋梁修繕計画作成						10,000	0
橋梁修繕計画作成繰越						18,239	0
3 身近な道路小計	52,622	92,353	49,743	49,773	67,794	112,884	152,830
身近な道路	52,622	57,641	15,031	44,603	67,794	60,500	152,830
身近な道路 繰越分	0	34,712	34,712	5,170	0	52,384	0
4 市道リフレッシュ小計	0	0	22,827	43,148	0	61,000	5,000
市道リフレッシュ	0	0	0	43,148	0	0	5,000
市道リフレッシュ繰越	0	0	22,827	0	0	61,000	0
5 市道管理費小計						27,411	5,000
市道管理費						0	5,000
市道管理費繰越						27,411	0
河川費(身近な水路等)計(B)	31,165	62,116	0	0	0	33,782	85,490
身近な水路	25,242	32,738	0	0	0	33,782	85,490
排水施設	5,923	29,378	0	0	0	0	0

※ 数値は当該年度決算額に繰越予算額の合計。H26年度数値は当初予算と繰越予算の合計。

***** 水道施設 編 *****

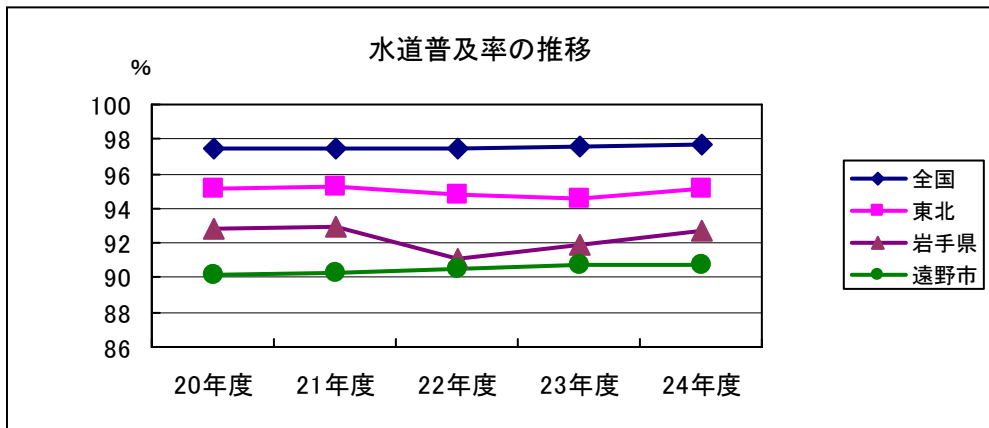
(1) 施設の概要

区 分		創 設 年月日	計画給 水人口	1日最大 給水量	給水地域	取水 種別	整備期間	事業費 (千円)
遠野市上水道		S36.12.26	22,100	15,100	遠野・綾織・ 松崎・土淵・ 青笹・上郷	表流水	S37.4 ～H17.3	6,198,942
簡 易 水 道	小友	S29.2.19	1,300	350	小友町	地下水 浅井戸	S29.3 ～H19.3	1,131,315
	上郷 東部	S51.3.14	800	280	細越地区	表流水	S51.7 ～S52.3	64,500
	附馬牛	S53.5.15	1,800	631	附馬牛町・ 小田沢	地下水 浅井戸	S53.6 ～S55.3	310,000
	宮守	S34.8.5	3,552	1,621	上宮守、下宮 守、上鱒沢、 下鱒沢	湧 水	S34.12 ～H19.3	3,548,203
	達曾部	S32.8.31	1,190	500	達曾部	湧 水	S32.9 ～H17.3	650,000
用水施設 (管農飲雑)	佐比内	S53.3.31	486	175	佐比内	地下水 浅井戸	S54.10 ～S56.11	77,800
小規模給水施設	大野平	S54.3	76	45	大野平	表流水	S53.10 ～S54.3	20,224
	琴畑	S53.3	47	10	琴畑	湧 水	S52.9 ～S53.3	12,750
	大出	H5.3	48	41	大出	表流水	H4.8 ～H5.3	93,000

(2) 給水人口と普及率

(平成26年3月31日現在、単位:世帯、人、%)

区分 地区	行政区域内		計画区域内		利用者		整備率 B/A	普及率 C/A	未普及地区
	世帯 数	人口 A	世帯 数	人口 B	世帯 数	人口 C			
遠 野	3,382	8,022	3,374	8,002	3,292	7,875	99.8	98.2	〆田・九重沢
綾 織	617	1,791	598	1,745	527	1,545	97.4	86.3	山口・滝沢
小 友	464	1,404	428	1,308	375	1,182	93.2	84.2	外山、山谷
附馬牛	459	1,354	401	1,192	273	942	88.0	69.6	荒川、中滝、沢ノ口、 大洞、小出
松 崎	1,721	4,473	1,721	4,473	1,667	4,326	100.0	96.7	
土 淵	745	2,274	705	2,163	552	1,810	95.1	79.6	西内、恩徳
青 笹	848	2,530	848	2,530	765	2,418	100.0	95.6	
上 郷	1,023	2,813	988	2,730	816	2,376	97.0	84.5	来内
宮 守	1,616	4,649	1,549	4,419	1,428	4,171	95.1	89.7	長崎、大豆畑、 白石・湧水
合 計	10,875	29,310	10,612	28,562	9,695	26,645	97.4	90.9	263世帯、748人



(※平成22年度の普及率数値は、「東日本大震災」のため遠野市以外は未確定)

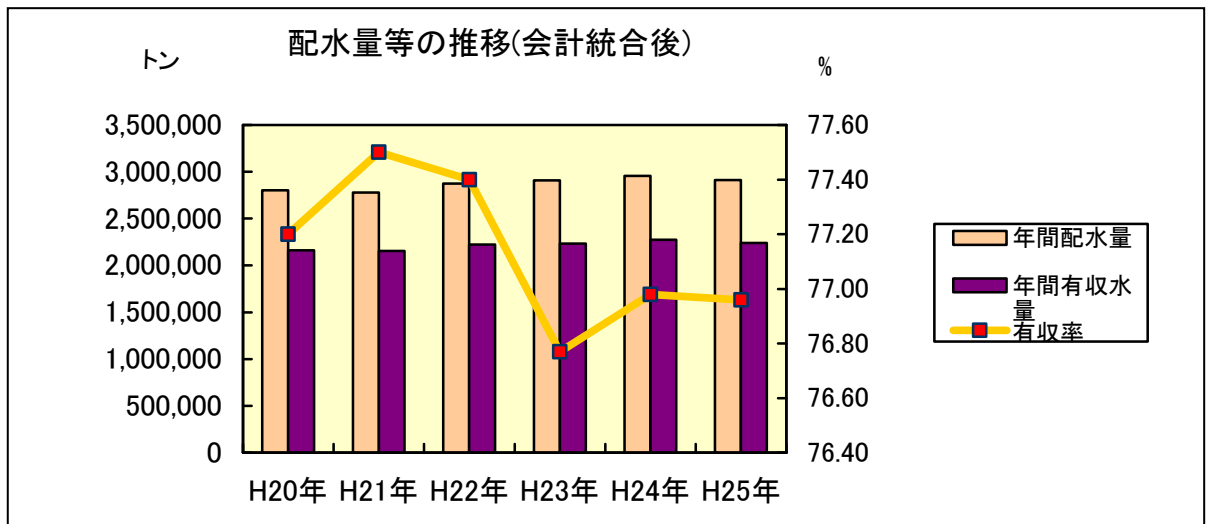
(3) 配水施設と配水量・有収水量 (平成25年度実績、単位：トン、%)

上水道事業区域で10、簡易水道事業等の区域で23、市全体で33施設を常時管理しています。簡易水道事業の小友地区、宮守地区、達曽部地区においては、それぞれの配水池を連結して効率的な配水に努めています。

(単位：トン)

上水道		簡易水道・給水施設			
施設名	容量	施設名	容量	施設名	容量
高室配水池	3,000	山谷配水池	146	塚沢配水池	95
館石配水池	180	長野低区配水池	120	相の山配水池	13
上糠前配水池	55	鷹鳥屋配水池	92	達曽部配水池	132
上郷配水池	250	神の神配水池	45	中斎配水池	82
瀬内配水池	100	荷沢配水池	63	米田配水池	141
踊鹿配水池	7,000	小倉配水池	320	湯屋配水池	57
鍋倉配水池	1,000	東禅寺配水池	75	小計 19	2,799
蓬畑配水池	59	大袋配水池	14	平笹配水池	45
綾織低区配水池	160	上宮守配水池	205	大野平浄水場	50
新田配水池	100	宮守第1配水池	216	大出配水池	45
小計 10	11,904	新町配水池	476	初山配水池	140
		迷岡配水池	205	小計 4	280
		鱒沢配水池	302	合計 33	14,983

事業	配水量	有効水量	有効率	有収水量	有収率	無収水量	無効水量
上水道	2,188,545	1,828,532	83.6	1,759,118	80.4	69,414	360,013
高室	2,178,405	1,819,075	83.5	1,750,712	80.4	68,363	359,330
綾織	10,140	9,457	93.3	8,406	82.9	1,051	683
簡易水道	691,073	478,727	69.3	458,813	66.4	19,914	212,346
小友	100,951	76,689	76.0	66,769	66.1	9,920	24,262
附馬牛	74,105	57,538	77.6	54,086	73.0	3,452	16,567
上郷東部	28,012	19,377	69.2	19,220	68.6	157	8,635
宮守	381,230	253,813	66.6	248,064	65.1	5,749	127,417
達曽部	106,775	71,310	66.8	70,674	66.2	636	35,465
合計	2,879,618	2,307,259	80.1	2,217,931	77.0	89,328	572,359



(4) 管路の状況

① 配水管

(単位: m)

区分	铸铁管	DIP	鋼管	石棉管	VWP	PP	SUS	その他	合計
上水道	5,037	115,400	163	112	225,609	6,744	265	34	353,364
簡易水道	5,497	49,069	1,979	0	163,305	1,629	46	1,330	222,855
合計	10,534	164,469	2,142	112	388,914	8,373	311	1,364	576,219

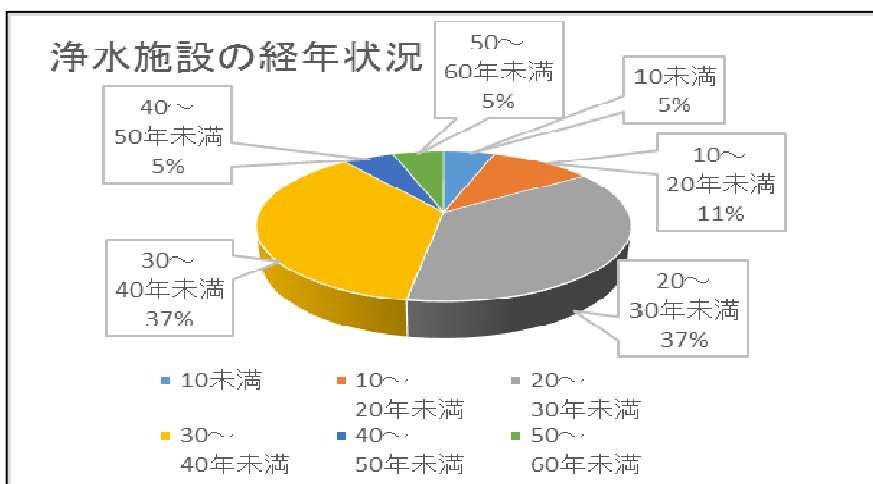
② 導水管及び送水管(上水道のみ)

(単位: m、%)

区分	铸铁管	DIP	鋼管	石棉管	VWP	PP	SUS	その他	合計
導水管	0	9,700	0	0	3,046	0	0	0	12,746
送水管	1,081	9,123	14	0	2,646	0	74	0	12,938
小計	1,081	18,823	14	0	5,692	0	74	0	25,684
総合計	11,615	183,292	2,156	112	394,606	8,373	385	1,364	601,903
割合	1.9	30.4	0.4	0.0	65.6	1.4	0.1	0.2	100

(5) 浄水施設の経年状況

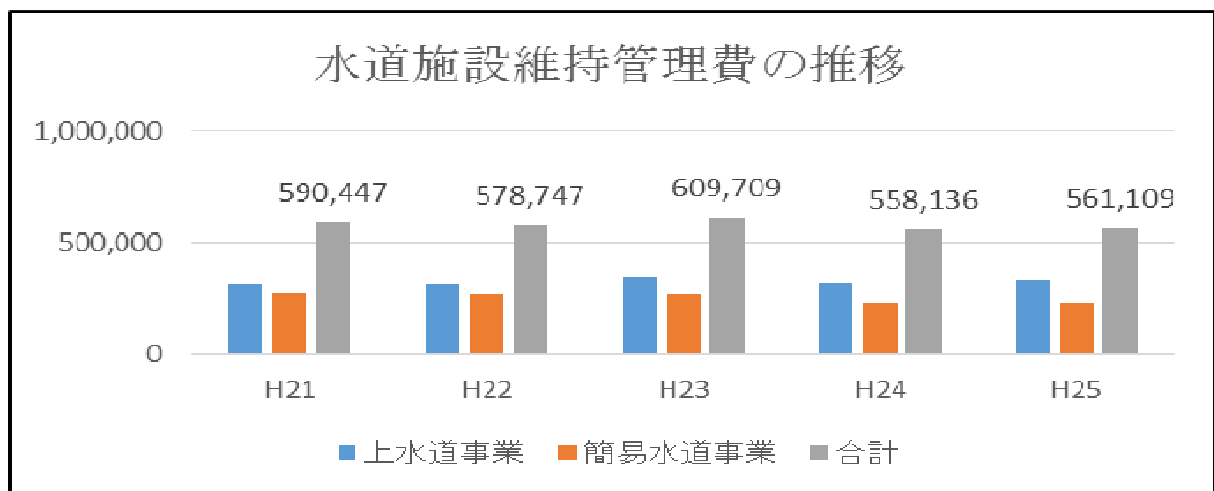
10未満	10~20年未満	20~30年未満	30~40年未満	40~50年未満	50~60年未満	60~70年未満	70~80年未満	80~90年未満	90~100年未満
1	2	7	7	1	1				



(6) 水道施設維持管理費用の推移

(単位:千円)

事業	項目	H21	H22	H23	H24	H25
上水道事業	営業費用	297,161	299,235	330,719	307,800	316,433
	原水及び浄水費	31,440	36,866	42,178	38,524	40,699
	配水及び給水費	53,982	48,262	58,875	37,444	33,339
	総係費	54,430	62,051	58,747	61,211	75,325
	減価償却費	147,473	148,742	151,603	155,192	160,814
	資産減耗費	9,836	3,314	19,316	15,337	6,256
	その他営業費用	0	0	0	92	0
	営業外費用	19,205	14,800	13,761	14,656	14,790
	企業債取扱諸費	18,124	13,848	12,369	13,914	13,223
	雑支出	1,081	952	1,392	742	1,567
	特別損失	81	20	165	200	199
	特別損失	81	20	165	200	199
	小計	316,447	314,055	344,645	322,656	331,422
簡易水道事業	営業費用	197,135	192,838	201,222	179,172	180,669
	原水及び浄水費	38,107	31,738	33,225	37,817	38,608
	配水及び給水費	27,997	36,631	48,309	29,216	33,112
	総係費	2,981	3,149	3,262	3,560	1,366
	減価償却費	108,515	106,146	101,538	100,623	99,732
	資産減耗費	19,535	15,174	14,888	7,956	7,851
	その他営業費用	0	0	0	0	0
	営業外費用	76,832	71,854	63,838	56,135	48,994
	企業債取扱諸費	76,832	71,854	63,838	56,135	48,994
	雑支出	0	0	0	0	0
	特別損失	33	0	4	173	24
	特別損失	33	0	4	173	24
	小計	274,000	264,692	265,064	235,480	229,687
合計	590,447	578,747	609,709	558,136	561,109	



*** 汚水処理施設(公共下水道・農業集落排水) 編 ***

3 汚水処理施設(下水道、農業集落排水施設)

(1) 遠野市汚水処理基本計画における汚水処理人口普及率の目標値と達成率

事業名	平成25年度	実績(普及率)	達成率
公共下水道(遠野処理区)	39.5%	38.0%	96.2%
公共下水道(宮守処理区)	4.9%	3.9%	79.6%
農業集落排水	3.0%	2.7%	90.0%
浄化槽	17.0%	17.2%	101.2%
合計	64.4%	61.9%	96.1%

(2) 処理方法別平成25年度末の汚水処理人口における普及率と水洗化率

処理方法	整備人口	普及率	水洗化人口	水洗化率
公共下水道(遠野処理区)	11,146人	38.0%	9,034人	81.1%
公共下水道(宮守処理区)	1,156人	3.9%	724人	62.6%
農業集落排水	802人	2.7%	748人	93.3%
浄化槽	5,035人	17.2%	5,123人	101.7%
合計	18,139人	61.9%	15,629人	86.2%

※行政人口=29,310人 ※普及率=整備人口/行政人口

※水洗化率=水洗化人口/整備人口

(参考) 全国の下水道普及率(公共下水道) 77.0% (平成25年度末)

岩手県の下水道普及率(公共下水道) 55.4% (平成25年度末)

(3) 【公共下水道】

ア 平成25年度末現在の整備状況

	遠野処理区	宮守処理区	合計
全体計画面積	520 ha	57 ha	577 ha
事業認可面積	508 ha	57 ha	565 ha
整備済面積	409 ha	56 ha	465 ha
事業認可区域の整備率	80.5%	98.2%	82.3%
供用開始年月日	平成8年8月1日	平成14年4月1日	-

※宮守処理区:「特定環境保全公共下水道」で整備

(4) 【農業集落排水】

ア 農業集落排水事業に係る平成25年度末の汚水処理人口の現状

地区名	整備人口	普及率	水洗化人口	水洗化率
沢田飯豊	511人	1.7%	488人	95.5%
綾織	291人	1.0%	260人	89.3%
合計	802人	2.7%	748人	93.3%

イ 汚水処理施設の汚水流入量及び汚泥発生量

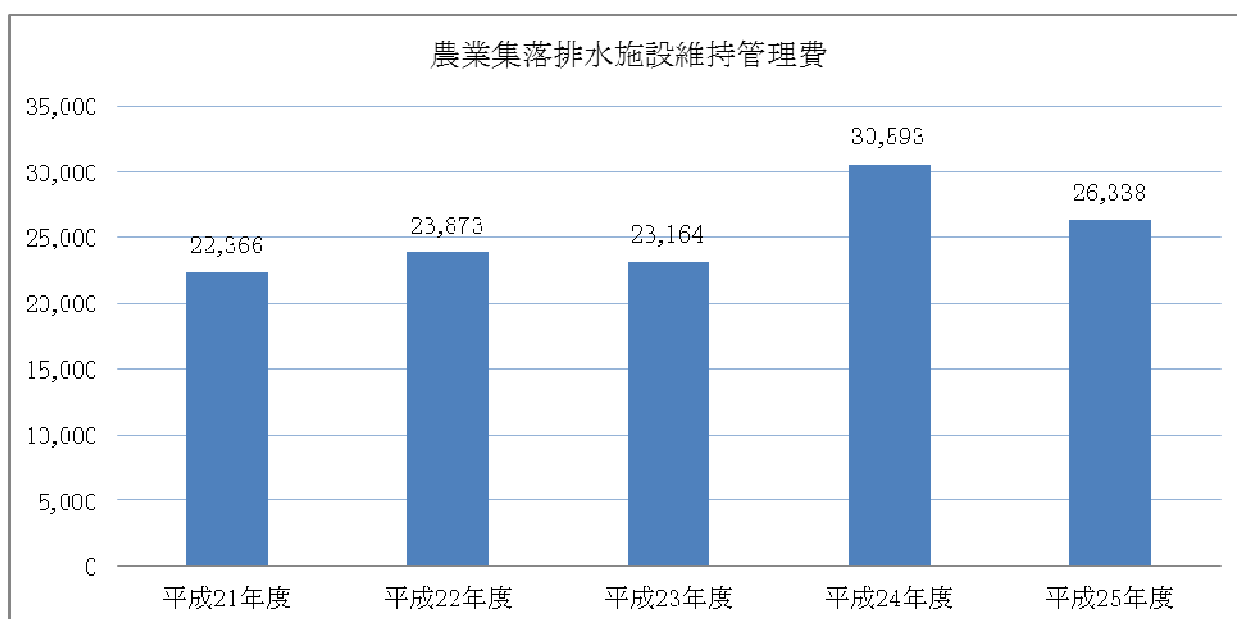
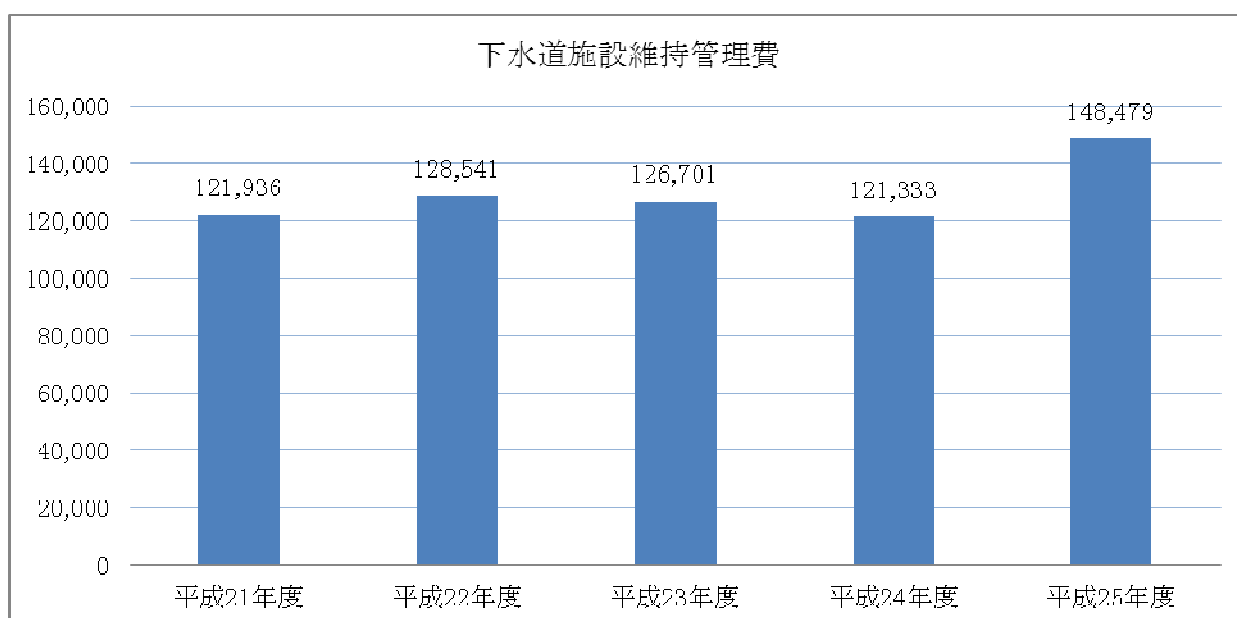
年度	沢田飯豊地区		綾織地区		合計	
	汚水流入量(m ³)	汚泥発生量(m ³)	汚水流入量(m ³)	汚泥発生量(m ³)	汚水流入量(m ³)	汚泥発生量(m ³)
25	38,723	400	21,387	240	60,110	640

(5) 汚水施設の維持管理費用の推移

(単位：千円)

事業	項目	H21	H22	H23	H24	H25
下水道事業	総務管理費	27,240	30,834	23,249	17,141	42,807
	施設管理費	94,696	97,707	103,452	104,192	105,672
	計	121,936	128,541	126,701	121,333	148,479
農業集落排水事業	総務管理費	8,260	8,453	7,746	16,334	11,520
	施設管理費	14,106	15,420	15,418	14,259	14,818
	計	22,366	23,873	23,164	30,593	26,338

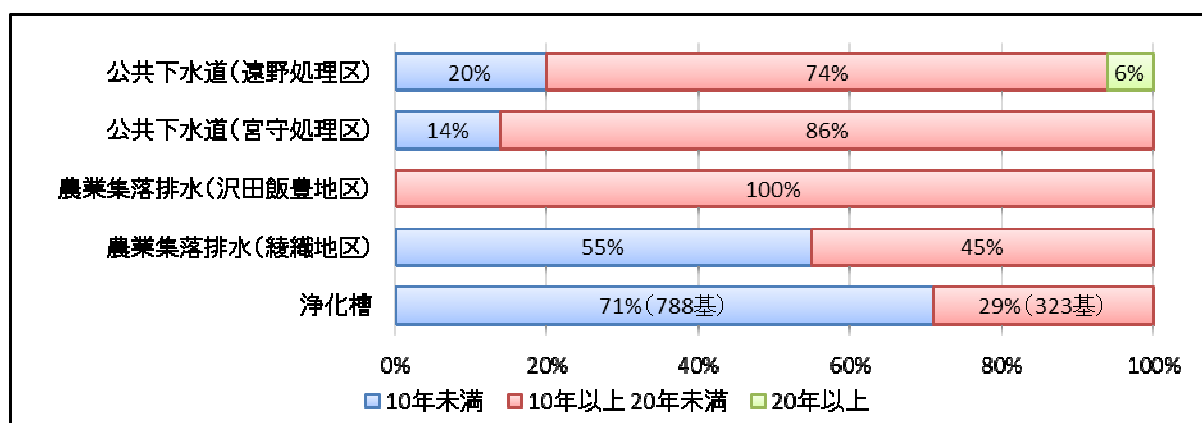
※維持管理費は、総務管理費と施設管理費の合計額



(6) 汚水処理施設の経年状況

平成 26 年 3 月 31 日現在

区分	事業費・基数	10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
公共下水道（遠野処理区）	8,965,508 千円	20%	74%	6%
公共下水道（宮守処理区）	1,222,224 千円	14%	86%	—
農業集落排水（沢田飯豊地区）	832,573 千円	—	100%	—
農業集落排水（綾織地区）	503,406 千円	55%	45%	—
浄化槽	1,111 基	788 基	323 基	—



(7) 汚水処理施設の状況と課題

ア 公共下水道

遠野処理区は、平成 2 年度に事業認可を受け、平成 8 年 8 月より供用開始している。汚水処理施設である遠野浄化センターは、供用開始以来、下水道の普及とともに処理水量が増加し、1 日 4,200 m³の処理能力により稼働している。

供用開始から 15 年以上が経過し、これまでも日常点検、修繕等を実施してきたが、機械、電気設備の主要部分に経年劣化による老朽化が進行してきている。

このことから、平成 23、24 年度に本浄化センターの機械、電気設備を対象に長寿命化計画を策定し、平成 26 年度から順次、施設の改修等を行っている。

宮守処理区は、平成 7 年度に事業認可を受け、平成 14 年 4 月より供用開始している。汚水処理施設である宮守浄化センターは、現在 1 日 900 m³の処理能力により稼働している。

供用開始から 10 年が経過し、日常点検、修繕等を実施している。

今後、経年劣化による施設の老朽化が懸念されることから、後年度に長寿命化計画の策定を検討し施設の改修等を行っていく。

イ 農業集落排水

沢田飯豊地区は、平成 8 年度に事業認可を受け、平成 11 年 4 月より供用開始している。汚水処理場は、現在 1 日 204.6 m³の処理能力により稼働している。

供用開始から 14 年が経過し、日常点検、修繕等を実施してきたが、経年劣化による老朽化が懸念されることから、平成 26 年度に汚水処理施設と管渠の機能診断を行っている。

綾織地区は、平成 12 年度に事業認可を受け、平成 17 年 4 月より供用開始している。汚水処理場は、現在 1 日 135 m³の処理能力により稼働している。

日常点検、修繕等を実施し、施設の維持管理を図っていく。

***** 公 営 住 宅 編 *****

4 公営住宅

(1) 市営住宅

団地名		建築年度	経過年数	構造	種別	棟数	管理戸数	床面積 (㎡)	整備事業費 (千円)
八幡	第1八幡住宅	S54	35年	簡易耐火2階建	1種	2	8	63.90	103,263
					2種	2	12	61.20	
	第2八幡住宅	S55	34年	簡易耐火2階建	1種	1	6	63.90	95,584
					2種	2	8	61.20	
	第3八幡住宅	S40	49年	簡易耐火平屋建	1種	1	4	38.20	9,711
					2種	3	12	32.69	
	第4八幡住宅	S41	48年	簡易耐火平屋建	1種	1	4	37.52	9,882
					2種	1	4	32.69	
	第5八幡住宅	S42	47年	簡易耐火平屋建	2種	3	12	32.69	8,503
	第6八幡住宅	S43	46年	簡易耐火平屋建	1種	1	4	38.21	12,685
2種					1	4	31.47		
					2	8	32.63		
第7八幡住宅	S44	45年	簡易耐火平屋建	1種	2	7	37.45	16,080	
				2種	3	13	32.63		
第8八幡住宅	S45	44年	簡易耐火平屋建	1種	2	8	37.52	11,206	
				2種	1	4	34.84		
第9八幡住宅	S46	43年	簡易耐火平屋建	1種	2	6	37.52	6,516	
第10八幡住宅	S47	42年	簡易耐火平屋建	1種	3	14	37.55	21,055	
				2種	1	4	35.01		
第11八幡住宅	H18	8年	木造平屋建	公営		3	6	63.36	284,406
						2	4	72.00	
	H19	7年	木造平屋建		1	2	63.36		
					1	2	72.00		
	H20	6年	木造平屋建		2	4	63.36		
				1	2	72.00			
計					44	162		578,891	
鶯崎	第1鶯崎住宅	S56	33年	簡易耐火2階建	1種	2	8	68.39	177,899
					2種	3	16	63.90	
	第2鶯崎住宅	S57	32年	簡易耐火2階建	1種	1	6	68.39	132,836
					2種	2	11	63.90	
	第3鶯崎住宅	S58	31年	簡易耐火2階建	1種	2	10	68.39	163,539
					2種	2	11	63.90	
	第4鶯崎住宅	S59	30年	簡易耐火2階建	1種	1	6	68.39	124,060
					2種	2	10	63.90	
	第5鶯崎住宅	S60	29年	簡易耐火2階建	1種	1	6	68.39	107,631
					2種	2	9	63.90	
第6鶯崎住宅	H10	16年	木造平屋	公営		2	4	54.88	540,570
			木造2階建			2	4	69.30	
	H11	15年	木造平屋建			3	6	79.83	
						2	4	54.88	
					4	8	69.30		

				木造2階建		1	2	79.83	
		H12	14年	木造1階建		2	4	54.88	
				木造2階建		2	4	69.30	
				木造2階建		2	4	79.83	
	計					38	133		1,246,525
早瀬	第1早瀬住宅	S52	37年	簡易耐火2階建	1種	2	12	58.05	81,876
					2種	2	8	54.81	
	第2早瀬住宅	S53	36年		1種	2	12	61.20	92,367
					2種	2	8	58.05	
	計				8	40		174,243	
材木町	第1材木町住宅	H21	5年	木造2階建	公営	6	12		164,433
稲荷下	稲荷下第1住宅	H22	4年	木造2階建	公営	7	10		135,480
	稲荷下第2住宅	H23	3年	木造2階建		11	15		191,483
		H25	2年	木造2階建		5	7		95,490
	計					23	32		422,253
雪谷沢	雪谷沢住宅	S52	37年	準耐火平屋建	1種	2	10	52.39	49,985
		S53	36年	準耐火平屋建	2種	1	2	54.60	
	計					3	12		49,985
笠平	笠平住宅	S60	29年	木造平屋建	1種	10	10	59.62	57,301
		H3	23年	木造平屋建	1種	7	7	67.90	86,336
					2種	3	3	64.59	
		H7	19年	木造平屋建	1種	3	3	78.67	59,177
	2種				1	1	75.36		
計					24	24		202,814	
達曾部	達曾部住宅	S62	27年	木造平屋建	2種	5	5	60.04	29,482
		H5	21年	木造平屋建	1種	2	2	74.53	51,684
	2種				3	3	71.22		
計					10	10		81,166	
下鱒沢	下鱒沢住宅	S62	27年	木造平屋建	2種	5	5	60.04	29,474
		H5	21年	木造平屋建	1種	2	2	74.53	52,100
	2種				3	3	71.22		
計					10	10		81,574	
下郷	下郷住宅	H7	19年	木造平屋建	1種	1	1	78.67	73,690
					2種	4	4	71.22	
						5	5		73,690
吉金	吉金住宅	H14	12年	木造平屋建	公営	10	10	78.02	158,869
	吉金住宅	H16	10年	木造平屋建		2	2	78.02	30,646
		H17	9年	木造平屋建		8	8	78.02	128,641
	計					20	20		318,156
	総合計					191	460		3,393,931

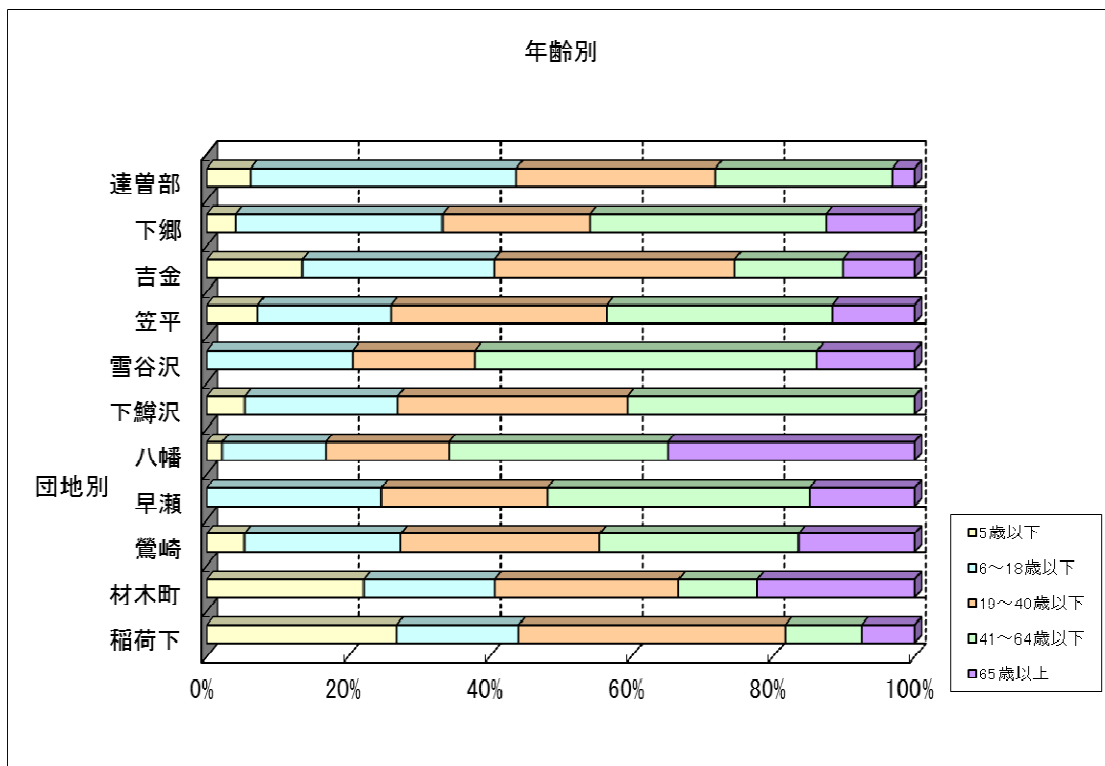
(2) 特定公共賃貸住宅

団地名		建築年	経過年数	構造	棟数	管理戸数	床面積(m ²)	整備事業費(千円)
達曽部	達曽部住宅	平成10年	16年	木造平屋建	2	2	85.29	36,283
下鱒沢	下鱒沢住宅	平成10年	16年	木造平屋建	2	2	85.29	34,620
下郷	下郷住宅	平成10年	16年	木造平屋建	2	2	85.29	33,579
計					6	6		104,482

(3) 入居状況(年齢別)

(平成26年1月1日現在)

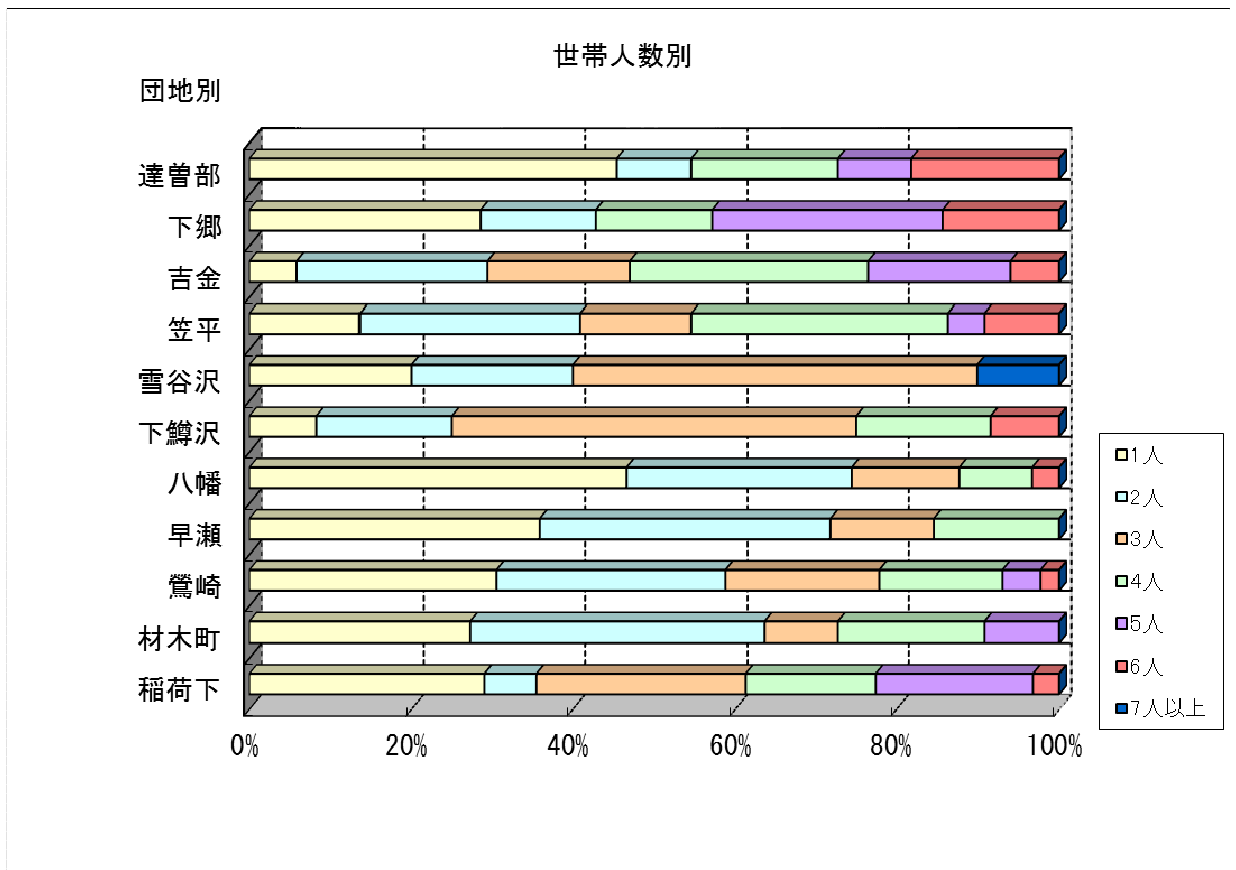
団地名	管理戸数	空き家	入居戸数	5歳以下	6~18歳以下	19~40才以下	41~64才以下	65歳以上	計
達曽部	12	1	11	2	12	9	8	1	32
下郷	7	-	7	1	7	5	8	3	24
吉金	20	3	17	8	16	20	9	6	59
笠平	24	2	22	5	13	21	22	8	69
雪谷沢	12	2	10	-	6	5	14	4	29
下鱒沢	12	-	12	2	8	12	15	-	37
八幡	183	93	90	4	26	31	55	62	178
早瀬	40	1	39	-	20	19	30	12	81
鶯崎	133	2	131	17	70	89	89	52	317
材木町	12	1	11	6	5	8	3	6	27
稻荷下	32	1	31	25	16	34	10	7	93
合計	487	106	381	70	199	243	263	171	946
割合		21.7%	78.3%	7.4%	21.0%	26.7%	27.9%	17.0%	100.0%



(3-1) 入居状況(世帯人員別)

(平成26年1月1日現在)

団地名	入居戸数	世帯人数							世帯当り人員
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	
達曽部	11	5	1	-	2	1	2	-	2.91
下郷	7	2	1	-	1	2	1	-	3.43
吉金	17	1	4	3	5	3	1	-	3.47
笠平	22	3	6	3	7	1	2	-	3.14
雪谷沢	10	2	2	5	-	-	-	1	2.90
下鱒沢	12	1	2	6	2	-	1	-	3.08
八幡	90	42	25	12	8	-	3	-	1.98
早瀬	39	14	14	5	6	-	-	-	2.08
鶯崎	131	40	37	25	20	6	3	-	2.42
材木町	11	3	4	1	2	1	-	-	2.45
稲荷下	31	9	2	8	5	6	1	-	3.00
合計	381	122	98	68	58	20	14	1	3.10
割合		32.2%	25.7%	17.8%	15.2%	5.2%	3.7%	0.2%	100.0%

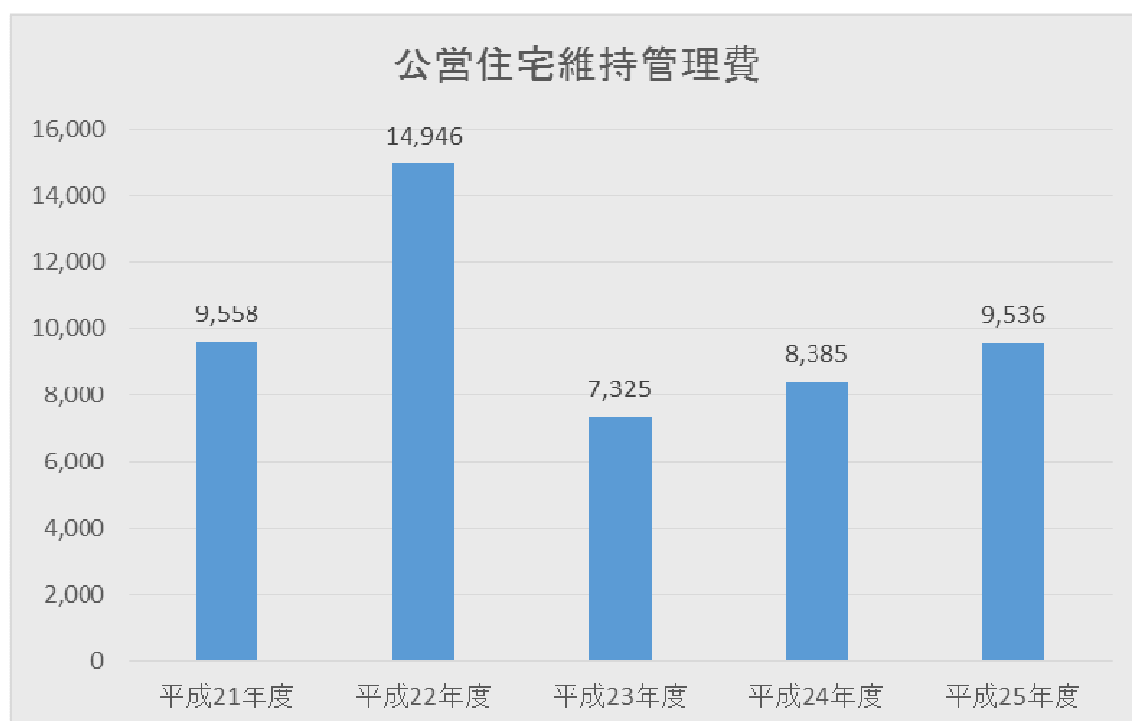


(3-2) 入居状況(高齢者居住別)

(平成26年1月1日現在)

団地名	入居戸数	高齢者同居世帯		高齢者夫婦世帯		高齢者単独世帯	
			割合		割合		割合
達曽部	11	-	0.0%	-	0.0%	1	9.0%
下郷	7	-	0.0%	1	14.2%	1	14.2%
吉金	17	1	5.8%	2	11.7%	1	5.8%
笠平	22	6	27.2%	-	0.0%	-	0.0%
雪谷沢	10	2	20.0%	-	0.0%	2	20.0%
下鱒沢	12	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
八幡	90	11	12.2%	6	6.6%	34	37.7%
早瀬	39	4	10.2%	-	0.0%	8	20.5%
鶯崎	131	14	10.6%	7	5.3%	22	16.7%
材木町	11	1	9.0%	1	9.0%	3	27.2%
稲荷下	31	-	0.0%	-	0.0%	7	22.5%
合計	381	39	10.2%	17	4.5%	79	20.7%
割合		10.2%		4.5%		20.7%	

(4) 公営住宅の維持管理費用の推移

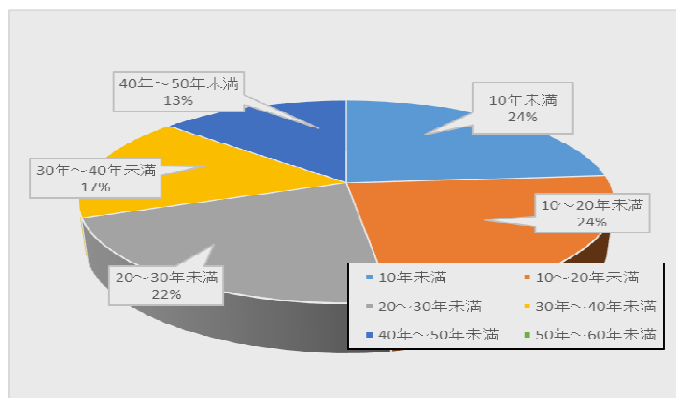


- ・平成21年以前は、建設課、地域振興課予算の合計金額
- ・平成22年度以降建設課で遠野・宮守両地区を一括管理。
- ・市営住宅内遊具の点検、大規模修繕等(約4,500千円)を平成22年に実施。

(5) 公営住宅の経年状況

単位：棟

10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30～40年未満	40～50年未満	50～60年未満
47	47	43	33	27	



(6) 市営住宅の状況と課題

当市の市営住宅はストック活用計画(平成15年3月策定)及び宮守村ストック活用計画(平成15年3月策定)により建て替え等計画的に進めてきた。

既存の市営住宅においては、耐用年数を超えた団地や数年以内に耐用年数を迎える団地などが多数あり、その現状は下記の通りである。

また、利用している入居者の意向や市営住宅整備に関する社会的要求の多様化などで市営住宅の役割に変化が生じており、今後はそれらの要求等に的確に応える必要がある。

近年は独居高齢入居者が増え、保証人及び本人死亡時の対応等についても検討していかなければならない。

以上のことから、平成25年に遠野市営住宅長寿命化計画を策定し、大規模修繕、建て替え、住宅団地の跡地利用、高齢者向けや子育てに配慮した住宅の整備について計画的に進めることとする。公共住宅維持集合修繕業務(ロングライフ事業)により迅速な修繕を図る。市営住宅の全体管理を含めてアウトソーシングを検討する。

① 遠野地区

整備後20年を経過した住宅団地が多数あり、雨漏り、配水管漏水、木造テラスや外壁等の痛みが激しくなっている。また、給湯器等の設備関係も既に耐用年数を経過したものも多数あり、その修繕、更新が急務となっている。

また、すでに耐用年数を経過した八幡住宅(第3～10団地)は、管理あるいは景観上からも好ましい状態ではないことから、入居者の退去を進め、撤去・解体のスピードアップを図り、その後の跡地利用計画を定めなければならない。更には早瀬、八幡(第1～2団地)、鶯崎(第1～5団地)の簡易耐火二階建て構造の住宅については、大規模な修繕が必要な状態であり、計画的な修繕が必要となっている。

長期入居者となっている高齢者独居世帯等については、建替え後の住宅では使用料が高くなることから、バリアフリーなど高齢者等に配慮した住宅整備が必要であり、福祉住宅として既存住宅の改修整備を進めている。

② 宮守地区

基本的には木造戸建て住宅で整備が進められてきた。整備後20年を経過し電気給湯、電気暖房設備の修繕が年々増加している。既に耐用年数が経過しているものがあり大規模な設備更新が必要となっている。

また、遠野地区で整備をしている高齢者等に配慮した福祉住宅を宮守地区に整備する必要もあり、建替え計画があった雪谷沢団地と土石危険地区である笠平団地については、移転先として市所有の旧JA跡地及び周辺を取得し、子育て、一般戸建て住宅も併設する計画としている。

***** 斎 場 編 *****

5 斎場

(1) 施設概要

建物構造	敷地面積	延床面積	建築年	火葬炉設備	集塵機	
鉄筋コンクリート 2階建	40,446.29 m ²	1,487.43 m ²	平成23年	人体炉3基 ペット炉1基	バグフィルター3機 (2炉1系列1機、1炉1系列2機)	
火葬ゾーン		待合ゾーン		管理ゾーン		駐車場
風除室、告別室、炉前ホール		待合室3室、待合ホール、トイレ、ペット葬待合室		事務室、炉室、残灰室、監視室、機械室		140台

(2) 全体事業費

項目	事業内容	事業費(千円)
設計委託等	建築設計、造成設計、周辺環境整備等	52,622
工事請負費	造成工事	99,952
	火葬炉設備工事	114,450
	建築工事	648,704
	駐車場整備工事	68,957
	工事請負費計	932,063
備品購入費	施設管理用備品	19,202
用地補償費	用地24,074.29 m ² 、電柱等移転	11,401
その他	水道、下水道分担金等	5,880
総事業費		1,021,168

(3) 施設運営状況

① 施設休業日 1月1日及び毎月第1友引の日

② 使用料金

(単位 :

円)

区分	単位	使用料	
		市内	市外
死体	1体	20,000	40,000
死産児	1胎	5,000	10,000
身体の一部	1体	5,000	10,000
胎盤	1件	5,000	10,000
その他	1件	5,000	10,000
小動物(収骨あり)	1件	15,000	30,000
小動物(収骨なし)	1件	10,000	20,000

※ 区分のうち「市内」とは、使用者が許可申請時に市内に住所を有している場合または死亡者が死亡時に市内に住所を有している場合をいう。

※ 「小動物」とは、犬、猫等の愛玩動物をいう。

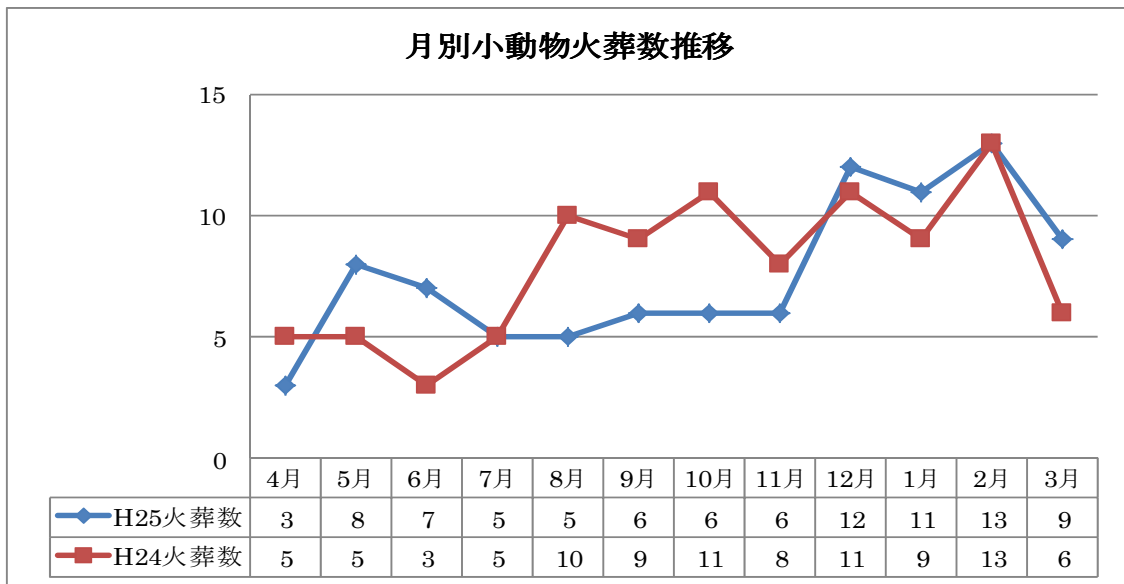
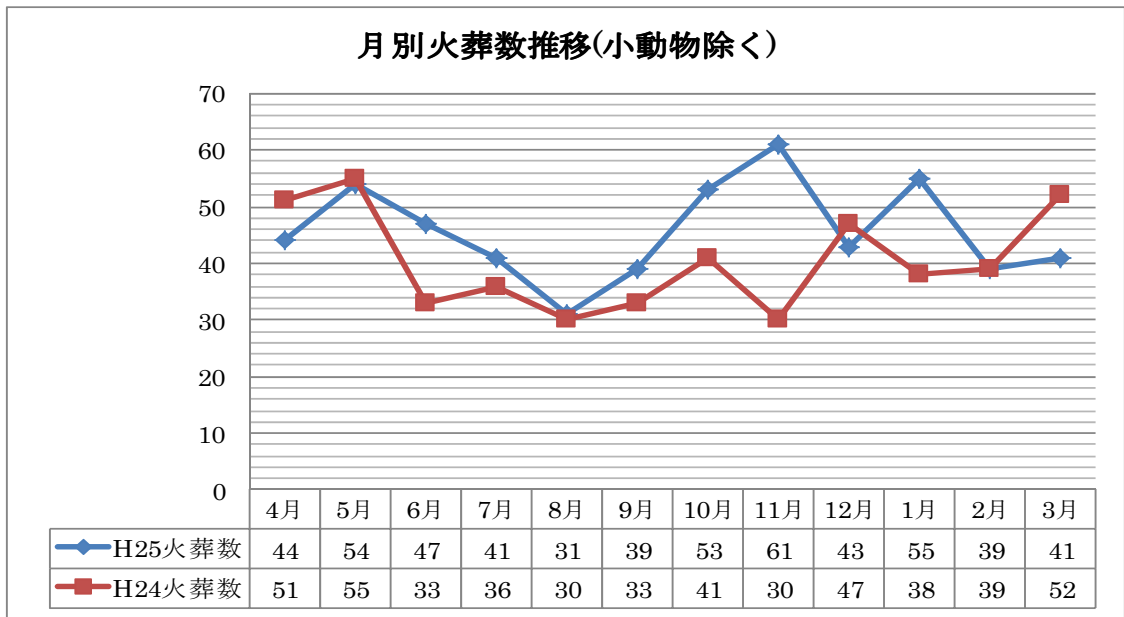
(4) 遠野市斎場月別火葬件数

平成25年度

	死体		胎児		身体の一部		焼骨		計			小動物		
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	合計	市内	市外	合計
4月	35	7	1	0	0	0	1	0	37	7	44	3	0	3
5月	49	3	0	0	0	0	2	0	51	3	54	8	0	8
6月	42	3	0	0	0	0	1	1	44	3	47	7	0	7
7月	37	1	0	0	0	0	3	0	40	1	41	5	0	5
8月	28	3	0	0	0	0	0	0	28	3	31	5	0	5
9月	32	4	0	0	0	0	3	0	35	4	39	6	0	6
10月	46	3	0	0	0	0	4	0	50	3	53	6	0	6
11月	58	2	0	0	0	0	1	0	59	2	61	6	0	6
12月	36	6	1	0	0	0	0	0	37	6	43	12	0	12
1月	49	5	0	0	1	0	0	0	50	5	55	11	0	11
2月	35	4	0	0	0	0	0	0	35	4	39	12	1	13
3月	36	5	0	0	0	0	0	0	36	5	41	9	0	9
合計	483	46	2	0	1	0	15	1	502	46	548	90	1	91

平成24年度

	死体		胎児		身体の一部		焼骨		計			小動物		
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	合計	市内	市外	合計
4月	48	1	1	0	0	0	1	0	50	1	51	5	0	5
5月	44	7	1	0	0	0	2	1	47	8	55	5	0	5
6月	32	1	0	0	0	0	0	0	32	1	33	3	0	3
7月	34	0	0	0	1	0	0	1	35	1	36	5	0	5
8月	26	2	1	0	0	0	1	0	28	2	30	9	1	10
9月	26	3	2	0	0	0	2	0	30	3	33	9	0	9
10月	35	3	0	0	0	0	3	0	38	3	41	11	0	11
11月	21	8	0	0	0	1	0	0	21	9	30	8	0	8
12月	44	3	0	0	0	0	0	0	44	3	47	11	0	11
1月	34	3	1	0	0	0	0	0	35	3	38	9	0	9
2月	36	2	1	0	0	0	0	0	37	2	39	13	0	13
3月	48	4	0	0	0	0	0	0	48	4	52	9	0	9
合計	428	37	7	0	1	1	9	2	445	40	485	97	1	98



(5) 斎場の維持管理費用の推移

(単位:千円)

内 容		H24	H25
需用費	消耗品費	0	6 5 0
	燃料費	2, 0 3 9	2, 7 5 9
	光熱費	6, 3 0 6	6, 3 3 6
	修繕費	2 7	4 3 0
役務費	電話料金	9 1	9 3
	火災保険	1 5	1 5
斎場管理業務委託料		1 0, 8 4 5	1 1, 6 0 6
電気工作物保安全管理業務委託料等		2, 6 3 1	2, 9 9 0
テレビ使用料等		4 6	4 5
合 計		2 2, 0 0 0	2 4, 9 2 4

(新斎場：平成23年5月供用開始)

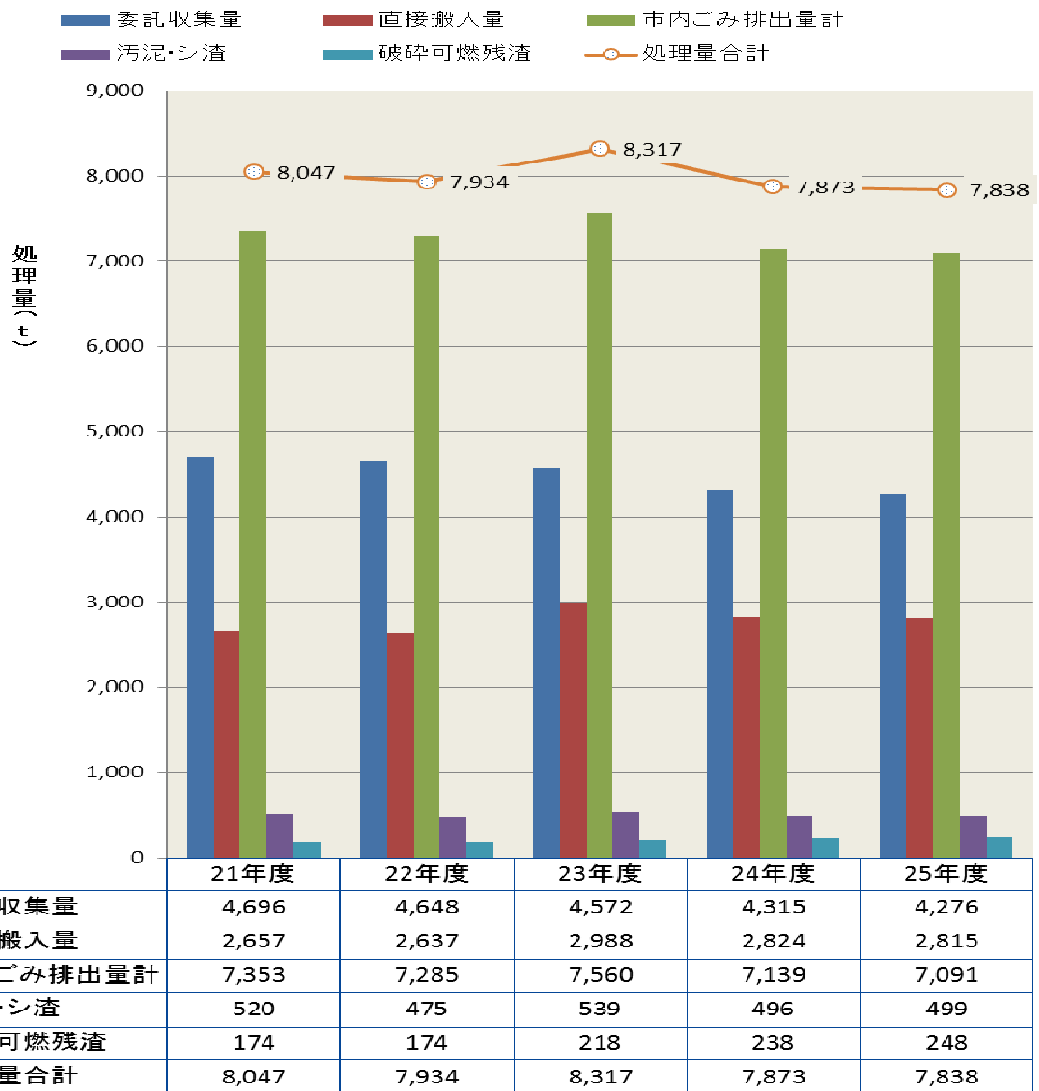
***** 清養園クリーンセンター編 *****

(1) 施設概要

① ゴミ焼却施設

処理方法	流動床式焼却炉	改修工事(排ガス高度処理)
処理能力(t/日)	40t/16H(1系列)	—
稼働年月日	昭和63年4月1日	平成11年2月26日
総事業費(千円)	762,945	680,044

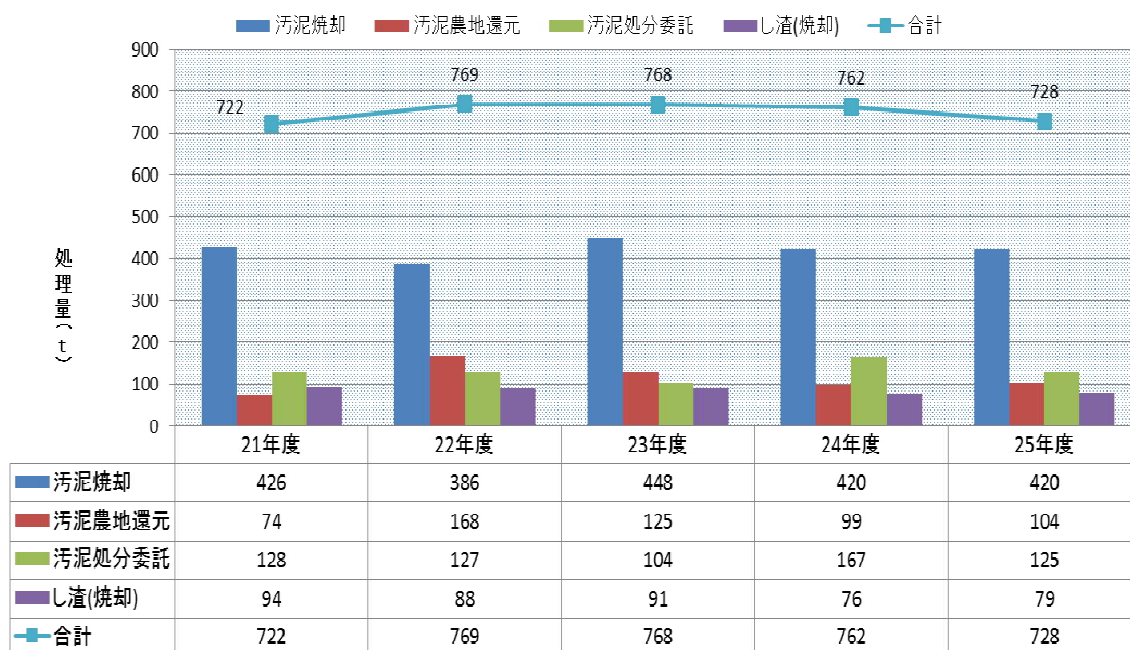
ごみ焼却施設処理量



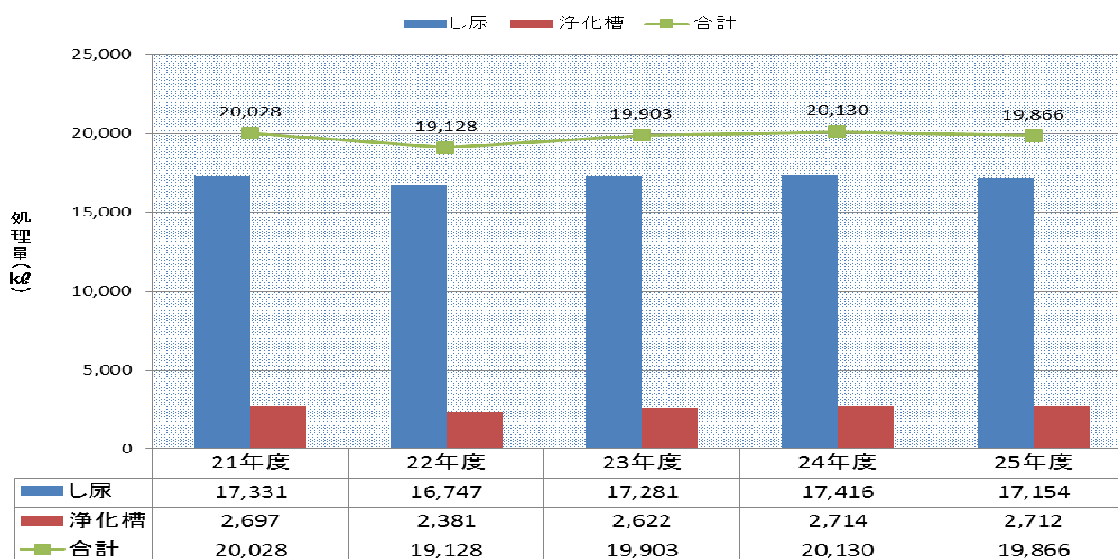
②し尿処理施設

処理方法	高負荷脱窒素処理方式+限外ろ過膜方式
処理能力(t/日)	6 1 k 1/日(し尿 59k1/日、浄化槽汚 2 k1/日)
稼働年月日	平成 3 年 4 月 1 日
総事業費(千円)	9 9 1, 1 6 7

汚泥・し渣処理状況



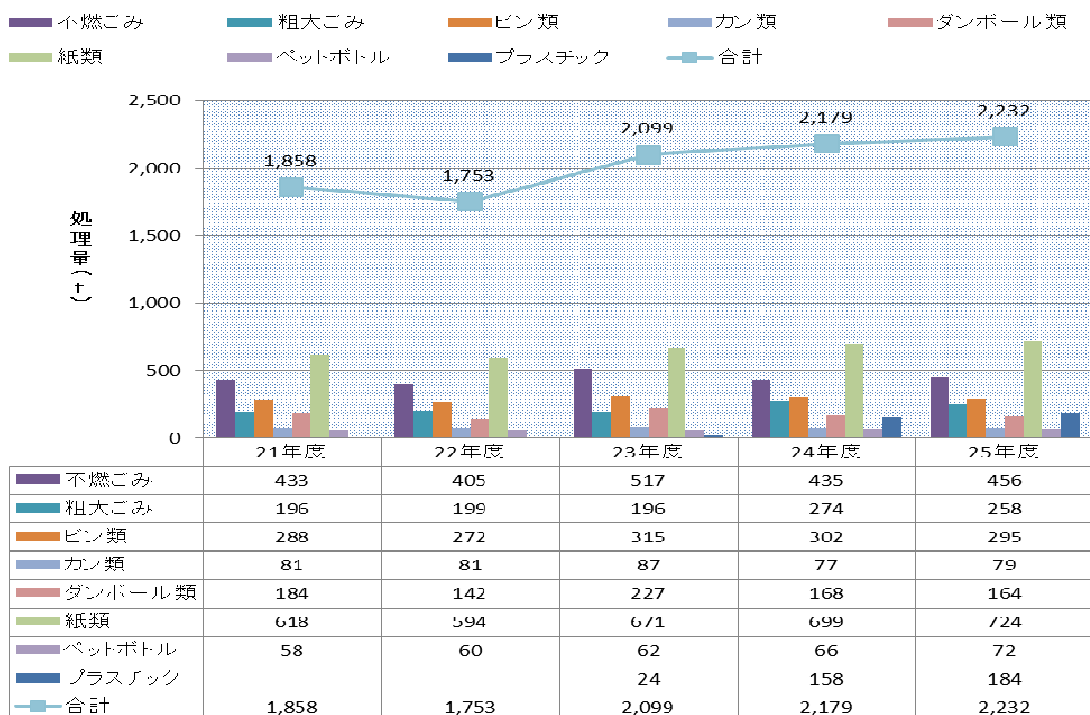
し尿処理施設処理量



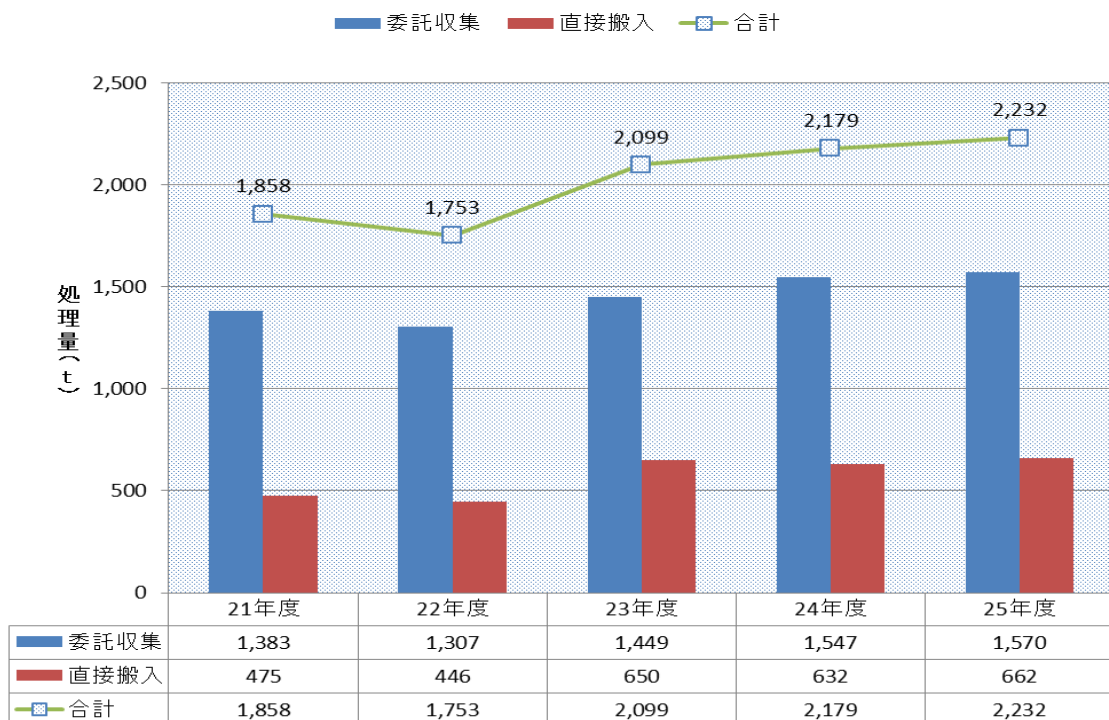
③廃棄物再生利用施設

処理対象物	不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ
処理能力(t/日)	12t/5H)
稼働年月日	平成12年11月1日
破碎方式	堅型高速回転式破碎機
選別方式	磁選機+風力選別機・粒度選別機+アルミ選別機
総事業費(千円)	986,081

廃棄物再生利用施設処理量(種類別)



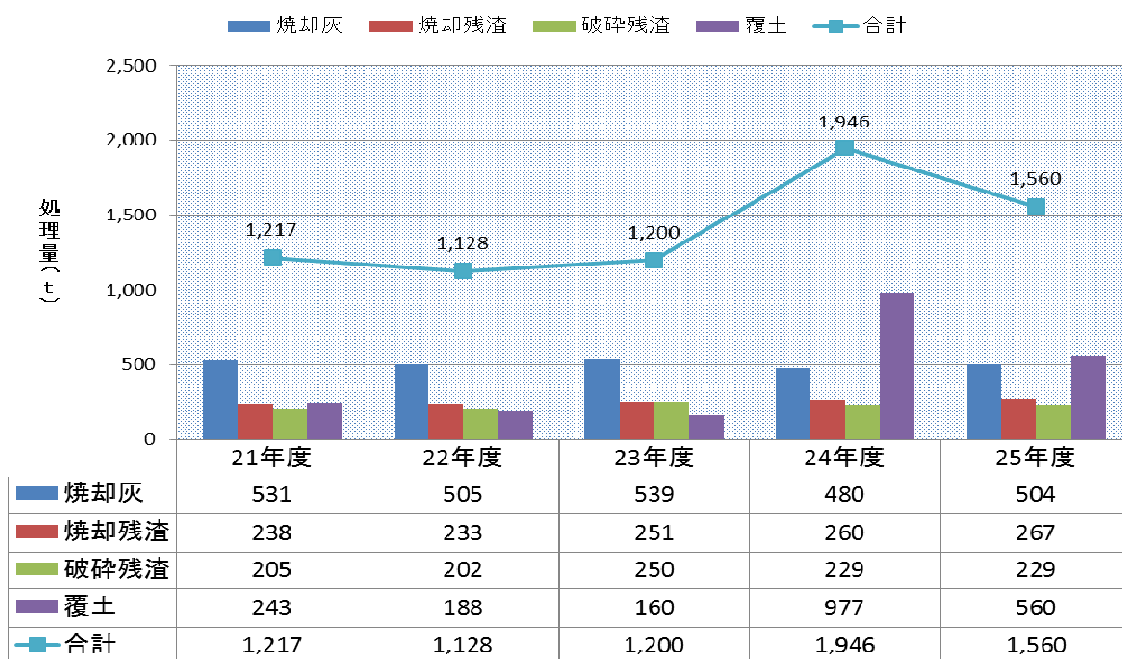
廃棄物再生利用施設処理量



④最終処分場

埋立物	破碎不燃物、焼却残渣
埋立面積 (m ²)	7,150
埋立容量 (m ³)	37,600
遮水方式	二重シート・漏水検知システム
浸出水処理方式	生物学的脱窒素処理 (接触ばっ気方式)
稼働年月日	平成14年4月1日
総事業費(千円)	1,056,365

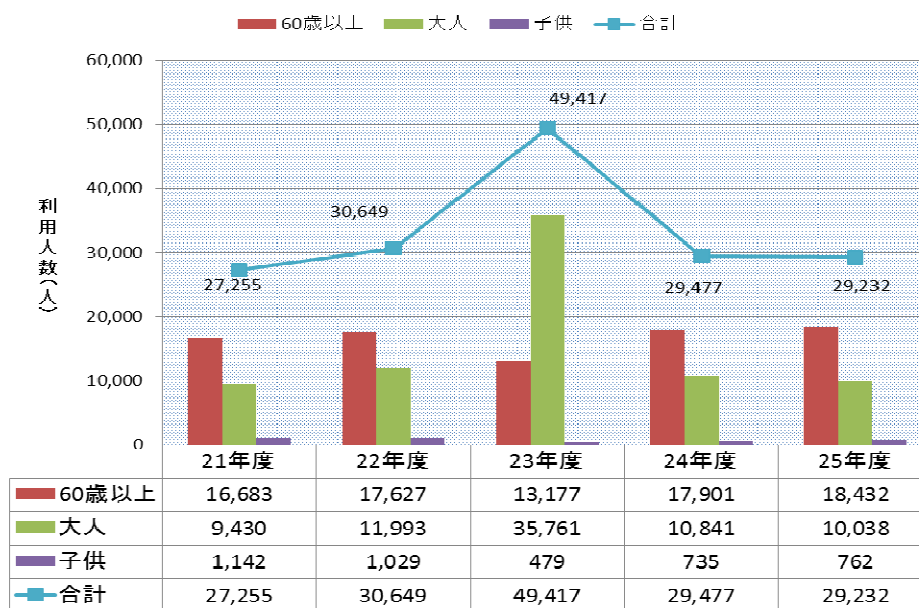
最終処分場埋立量



⑤保養センター

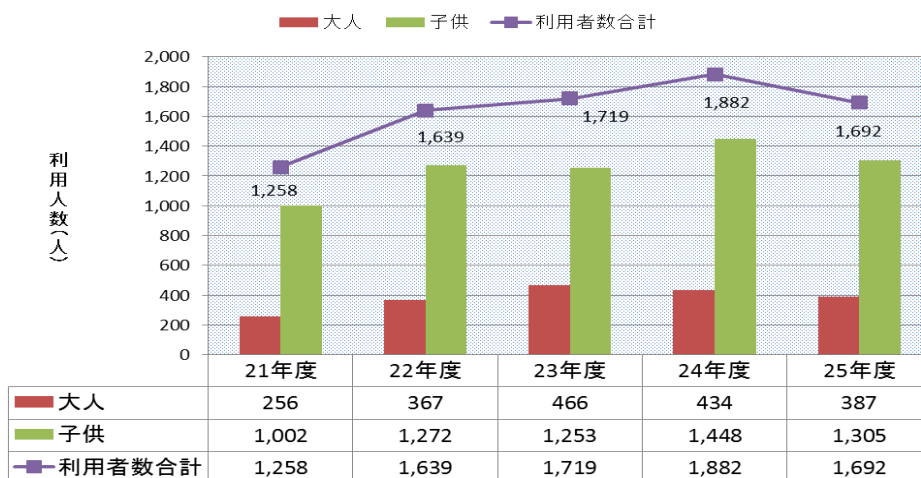
施設	構造	完成年月日	事業費(千円)
1期工事施設	鉄筋コンクリート造平屋建	昭和48年11月30日	17,990
2期工事施設	木造モルタル仕上げ2階建	昭和53年3月31日	15,450
3期工事施設	鉄骨造2階建	平成4年1月10日	39,307
総事業費(千円)			72,477

保養センター利用状況



保養センター 営業日数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	303日	300日	327日	307日	308日

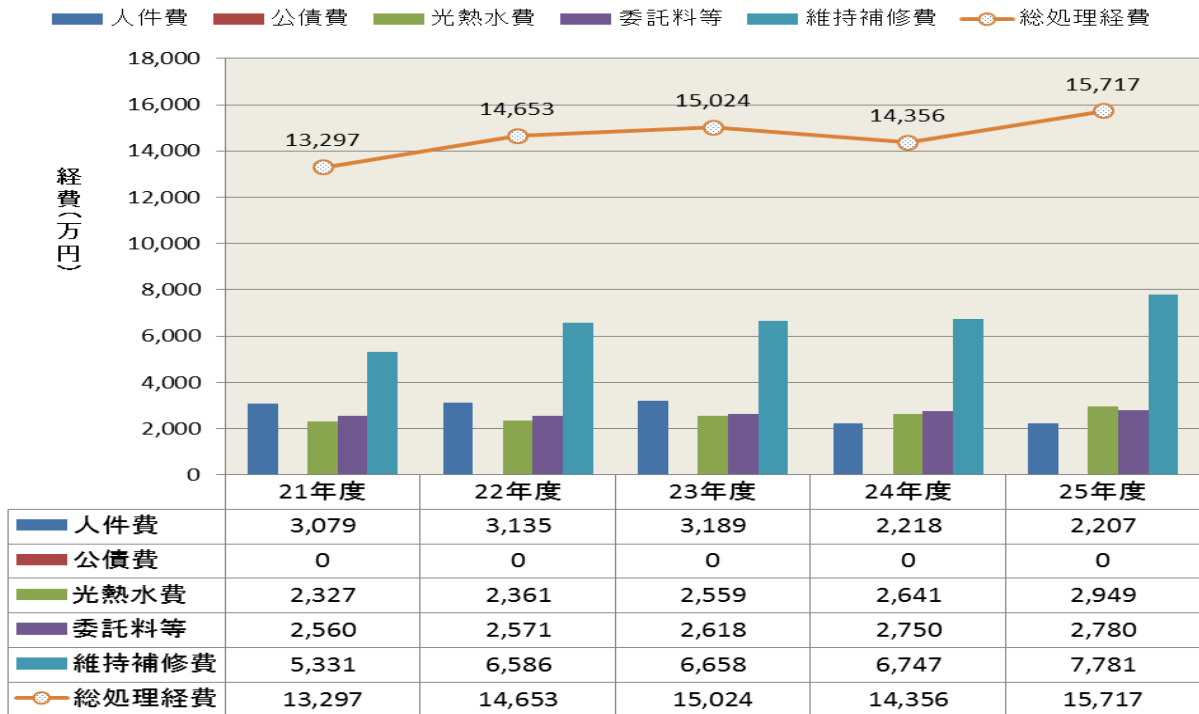
スケート場利用状況



スケート場 営業日数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	26日	38日	39日	39日	31日

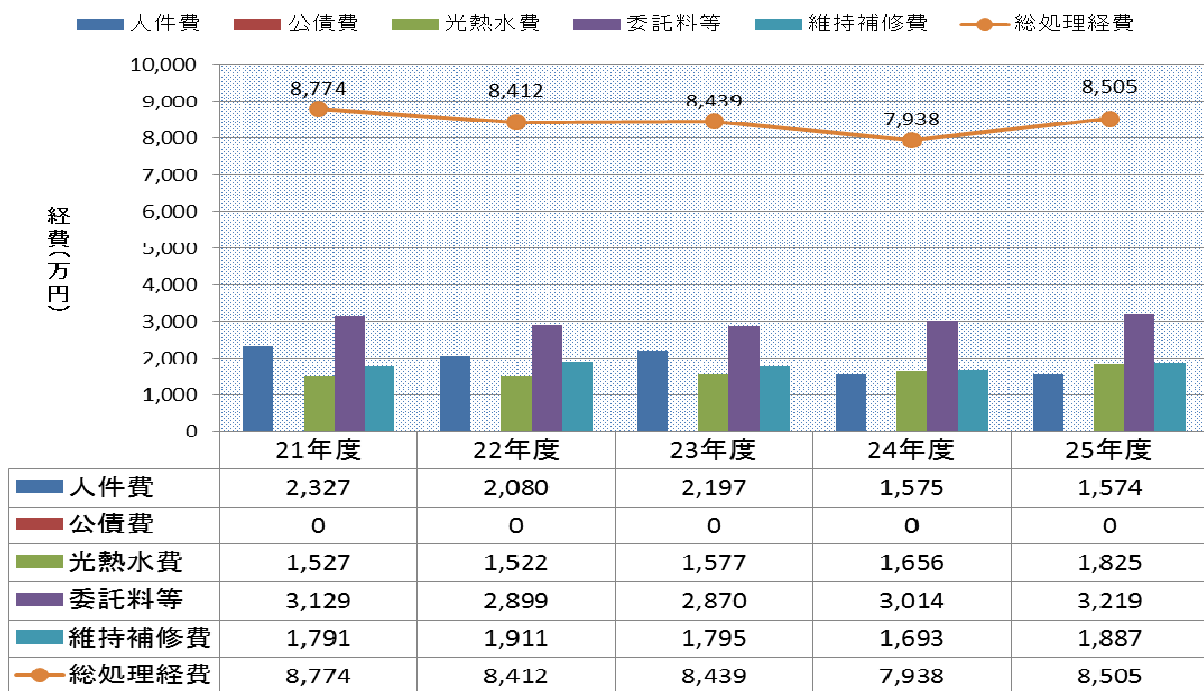
(2) 清養園クリーンセンターの維持管理経費の推移
①ごみ焼却施設

ごみ焼却施設処理経費



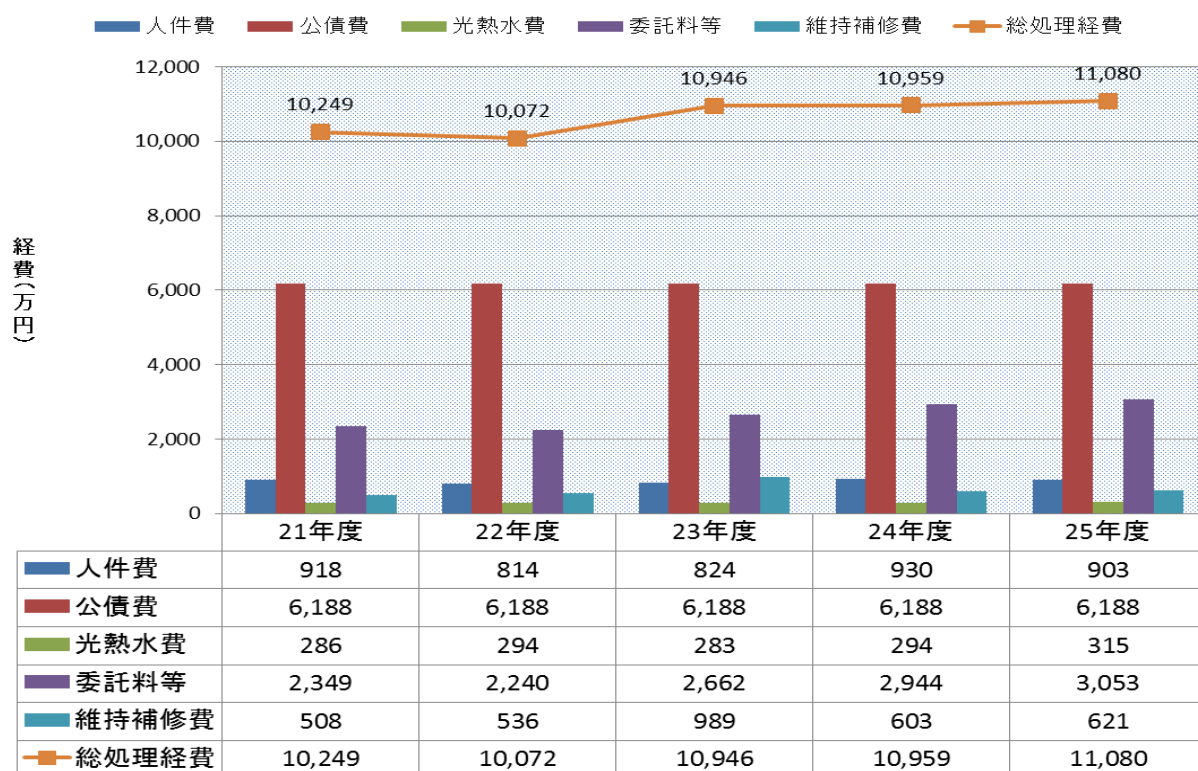
②し尿処理施設の維持管理経費の推移

し尿処理施設経費



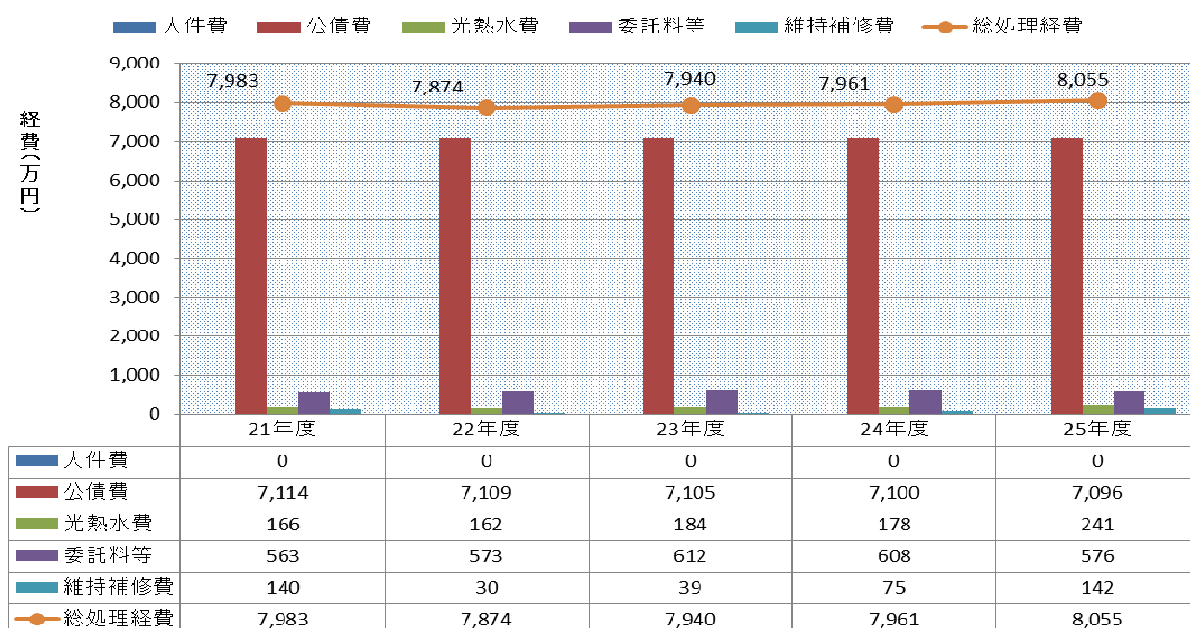
③廃棄物再生処理施設の維持管理経費の推移

廃棄物再生利用施設処理経費

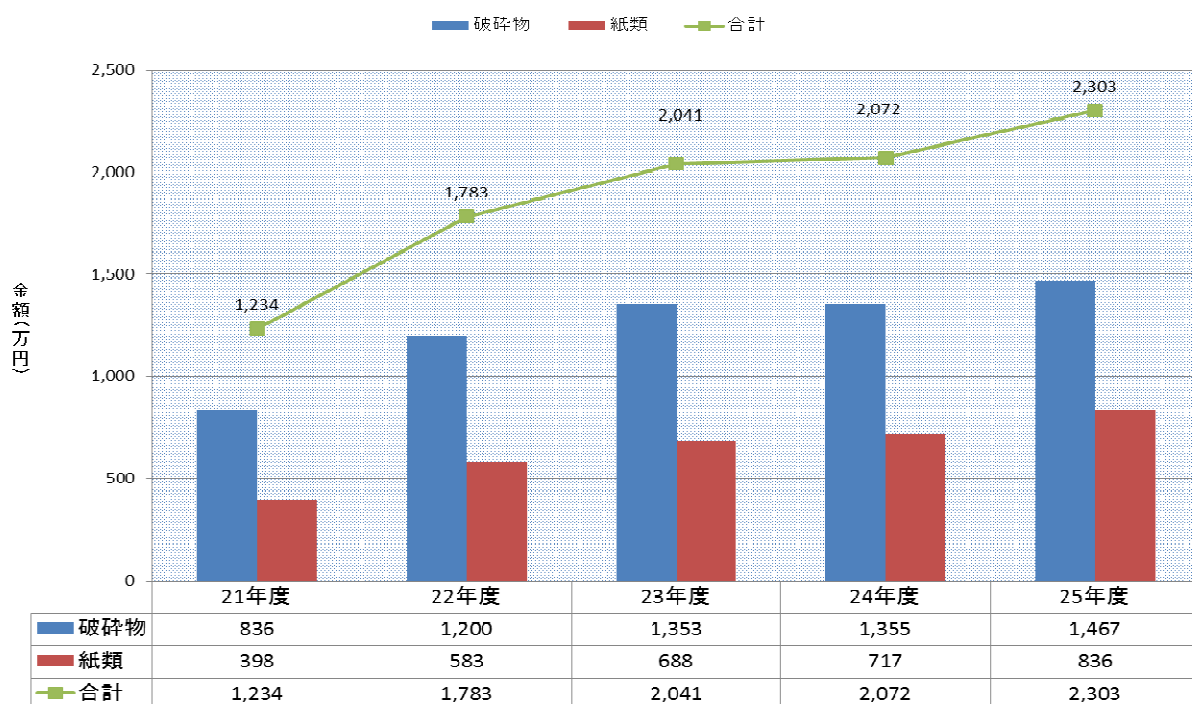


④最終処分場の維持管理経費の推移

最終処分場処理経費



⑤廃棄物再生利用施設からのリサイクル物品等売却状況
廃棄物再生利用施設売却金額



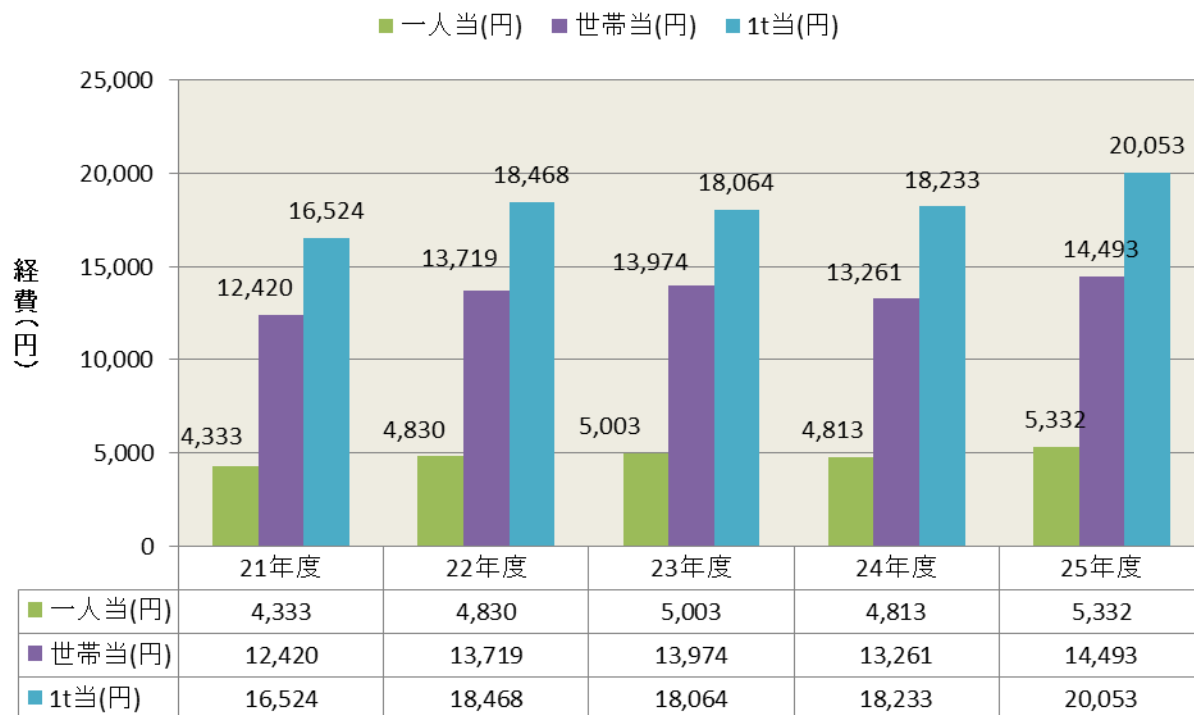
⑥保養センターの維持管理経費の推移

保養センター運営に係る収支		単位:円				
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
経費	燃料費	2,023	2,293	2,616	3,278	3,144
	光熱水費	4,560	4,747	4,994	5,116	5,212
	委託料(保養センター管理業務)	8,691	8,649	9,254	9,350	9,649
	委託料(スケート場管理業務)	1,528	1,628	1,685	1,722	1,626
	その他(消耗品、保険、警備保障等)	2,442	2,968	2,719	2,397	2,593
	合計	19,244	20,285	21,268	21,863	22,224
収入	保養センター使用料	4,448	4,895	7,618	4,675	4,672
	スケート場使用料	294	470	456	523	371
	合計	4,742	5,365	8,074	5,198	5,043
収 支		△ 14,502	△ 14,920	△ 13,194	△ 16,665	△ 17,181

●光熱水費(電気、水道)については、ごみ焼却施設からの供給で専用メーターが無いため推計値を使用)

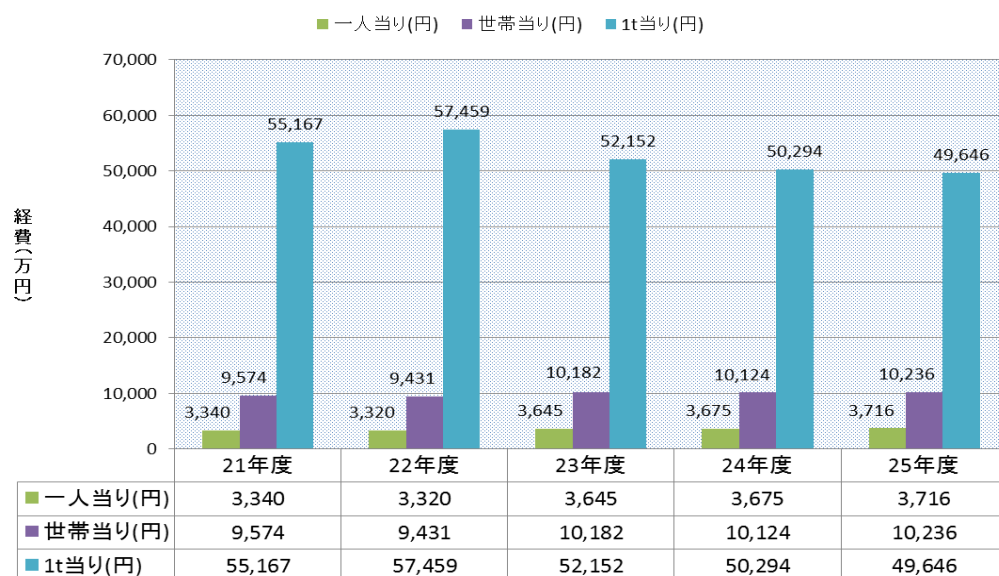
⑦市民一人当たりの焼却施設処理経費等

一人当り・世帯当り・トン当りの ごみ焼却施設処理経費



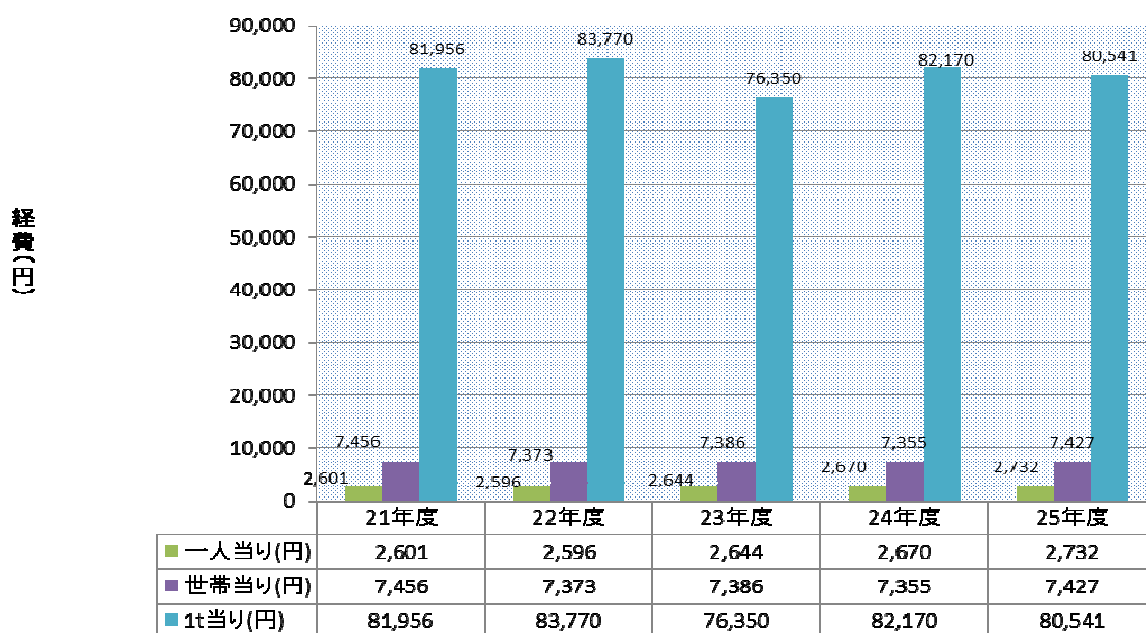
⑧市民一人当たりのリサイクル施設・最終処分埋立経費等

一人当り・世帯当り・トン当りの 廃棄物再生利用施設の処理経費



市民1人当り・世帯当り・埋立量トン当りの最終処分場の処理経費

■ 一人当り(円) ■ 世帯当り(円) ■ 1t当り(円)



(3) 施設の状況と課題

①ごみ焼却施設

可燃ごみ搬入量は平成18年度から減少傾向が続いている。ただし、平成23年度は東日本大震災後、当市に拠点を置き復旧活動を行った自衛隊、ボランティア等復旧支援者からのごみの受入に伴い一時的に増加した。

平成27年10月から岩手中部広域行政組合によるごみの広域処理が始まるが、現在26年が経過し老朽化が進んでいる施設の適正な維持管理の実施、また、平成27年10月以降廃止となることから今後4億円程度の解体費の発生が課題として挙げられる。

②し尿処理施設

当施設はし尿及び浄化槽汚泥合わせて年間およそ20,000klの処理を行っている。近年、公共下水道、合併処理浄化槽の整備により汲取りし尿の量は減少の兆しにはあるものの大幅な減少には至っていない。今後とも公共下水道への加入促進及び合併処理浄化槽の整備促進を図っていく必要がある。

③廃棄物再生利用施設

当施設には不燃ごみ、粗大ごみを破砕処理する破砕棟及び資源ごみを保管するストックヤードが設置されている。不燃ごみ、粗大ごみからは破砕処理して鉄、アルミを選別回収している。また、資源ごみとしてはビン類、飲料缶、段ボール、紙類、ペットボトルを収集保管している。なお、平成23年度から新たに容器包装プラスチック5品目を追加し、平成24年度からは全品目に拡大している。

ごみ減量化に向けて、今後、可燃ごみに含まれている紙類及び容器プラのより一層の分別を図る必要がある。

④最終処分場

近年、可燃ごみの減少に伴って最終処分場埋立量も減少傾向にあったが、東日本大震災による福島第一原発事故の放射能汚染の影響で最終処分場埋立方法が放射性物質汚染対処特別措置法により規制を受けたことから覆土量（土壌層の敷設分）が増加した。

⑤保養センター及びスケート場

ごみ焼却施設の余熱を利用しながら稼働している保養センターは昭和49年の開業以来39年目を迎えている。休養、憩いの場として年間およそ30,000人の方に利用されている。今後の課題としては、ごみ焼却施設廃止後の代替熱源問題及び増加傾向にある維持管理費の節減対策が挙げられる。

天然を活用したスケート場は冬季の娯楽、体力づくりの場としてシーズン中およそ1,700人の方に利用されている。こちらも今後の課題として、ごみ焼却施設廃止後のリンク整備用代替熱源の問題が挙げられる。

Ⅶ 今後の施設改修見込と概算費用

(1-1) 生活に身近な道づくり計画

符号	路線名	計画延長	計画幅員	符号	路線名	計画延長	計画幅員
1-1	下組町南1号線	120	4.0	5-2	光興寺上の山線	775	6.0
1-2	早瀬町小平線	245	5.0	6-1	下道線	195	5.0
1-3	太田1号線	220	5.0	6-2	(仮称)大櫓線	250	5.0
1-4	早瀬町8号線	90	4.0	8-1	(仮称)大寺線	450	5.0
1-5	早瀬町6号線	155	5.0	8-2	伊原平倉線	435	5.0
2-1	二日町田中線	195	5.0	8-3	上郷林崎線	240	5.0
2-2	水口腰巡線	455	5.0	8-4	暮坪中向線	200	5.0
2-3	綾織前川原線	200	4.0	8-5	(仮称)宇南林線	205	4.0
4-1	久手峠線	145	4.0	9-1	迷岡線	850	5.0
4-2	上柳大袋線	415	4.0	9-2	岩渡線	1,600	5.0
5-1	矢崎荒屋線	1,840	5.0~7.0				

計 21 路線

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	合計
平成 27~平成 29 年度	88,030	214,560	90,860	393,450

(1-2) 橋梁長寿命化整備事業

- 当該橋梁数 193 橋 (橋長 15m以上が今回事業該当)
- 橋梁点検結果(対策区分判定)

	A判定	B判定	C判定	E1判定	E2判定	S判定	M判定
橋梁 193 橋	0	40	48	24	18	5	58
比率 (%)	0%	21%	25%	12%	9%	3%	30%

※ 対策区分判定の目安

対策区分	状 況
A	健全
B	ほぼ健全 (早期の補修は必要ないと考えられる。)
C	耐久性確保のためには、補修が望ましい。
E 1	自家点検までに補修が必要 (構造的な安全性)
E 2	自家点検までに補修が必要 (利用者などの安全性)
S	詳細点検、経過観察が必要
M	維持工事で対応が必要な損傷

- 橋梁点検結果(損傷区分)

	損傷区分 a	損傷区分 b	損傷区分 c	損傷区分 d	損傷区分 e
橋梁 193 橋	40	35	27	30	7

○ 修繕計画

該当橋梁 193 橋のうち、E判定橋梁までを 12 年間程度で修繕終了する場合の必要事業費は下表のとおりと予定する。

	年間事業費	総事業費
修繕計画事業費	1.50 億円	18.00 億円

※ 予定年間事業費 1.35 億円を予算措置することが可能であれば、事前予防が進み、劣化進展前に修繕が行なわれることで総事業費も抑制できる。

(2) 公営住宅

(単位：千円)

年度	団地名	内 容	概算事業費
平成26年度	八 幡	1 棟 5 戸改修 (福祉住宅)	35,484
	八 幡	2 棟 8 戸解体	6,240
平成27年度	八 幡	1 棟 4 戸改修 (福祉住宅)	36,000
	八 幡	2 棟 8 戸解体	10,000
	上 郷	造成工事	38,662
	宮 守	造成工事	5,500
平成28年度	早 瀬	造成工事	57,993
	上 郷	住宅建設工事 (7 戸)	223,322
	宮 守	住宅建設工事	655,780
平成29年度	八 幡	住宅解体	50,377
	八 幡	造成工事	77,802
	早 瀬	住宅建設工事 (20 戸)	270,030
	笠 平	住宅解体・整地	46,415
	雪谷沢	住宅解体・整地	18,530
平成30年度	八 幡	住宅建設工事 (17 戸)	297,280
	八 幡	造成工事	77,802
	早 瀬	住宅建設工事 (20 戸)	270,030
	達 曾 部	住宅解体	13,259
平成31年度	八 幡	住宅建設工事 (17 戸)	337,280
	早 瀬	住宅解体・整地	63,788
	達 曾 部	住宅建設工事、遊具・フェンス修繕	161,500
平成32年度	八 幡	住宅解体・整地	59,227
	下 鱒 沢	住宅解体	13,259
平成33年度	応急仮設	建物解体・改修	36,207
	下 鱒 沢	住宅建設工事	157,000
	下 郷	遊具・フェンス修繕	3,000
平成34年度	笠 平	住宅解体・整地	27,879
	鷺 崎	集会所・遊具・フェンス修繕	58,000
平成35年度	八 幡	住宅解体	7,071
合 計			3,242,873

※上記の他に、累積修繕費と長寿命化改善費等1,376百万円が必要になる見込み。

(平成26年 2 月算定)

(3) 水道施設

・計画期間：平成21年度から平成29年度までの9年間

第1期 — 平成21年度～平成23年度 実績見込み金額 816,645千円

第2期 — 平成24年度～平成26年度 計画金額 1,539,900千円

第3期 — 平成27年度～平成29年度 計画金額 1,297,500千円

・総事業費：3,654,045千円

(4) 下水道施設の改修見込概算事業費

(単位：千円)

機器名称	設置年月	標準的耐用年数	概算事業費計	内訳：年度毎概算事業費				
				H25	H26	H27	H28	H29
高分子溶解タンク水位計	H 9.3	10	1,246					1,246
洗浄タンク水位計	H 9.3	10	1,246					1,246
2系ディッチDo計	H 8.3	10	1,464					1,464
No.2-2塩素接触装置	H 8.3	10	404					404
中汚泥貯留槽攪拌機	H 9.3	10	3,791					3,791
大汚泥貯留槽攪拌機	H 9.3	10	3,791					3,791
〔汚泥処理棟〕脱臭ファン	H 9.3	10	3,108					3,108
汚泥処理棟床排水ポンプ	H 9.3	10	288					288
汚泥貯留槽排水ポンプ(大汚泥貯留槽)	H 9.3	10	288					288
2-0-1号結花排水ポンプ	H 8.3	10	288					288
蓄電池設備(蓄電池盤等)	H 8.3	10	44,767		44,767			
2-1・2系返送汚泥流量計	H13.3	10	8,460					8,460
2系余剰汚泥・放流流量計	H 8.3	10	6,100					6,100
No.1助剤供給流量計	H13.3	10	1,823					1,823
高分子供給流量計等(2)	H 9.3	10	4,457					4,457
2-1系汚水流入量計	H13.3	10	2,987					2,987
大小汚泥貯留槽水位計等(3)	H 9.3	10	3,792					3,792
2-2系返送汚泥濃度計等(3)	H 8.3	10	16,337					16,337
汚泥処理コントローラ盤等(3)	H 9.3	10	74,001			74,001		
CRT監視装置	H 8.3	10	55,000		55,000			
返送汚泥ポンプ	H13.3	15	3,711				3,711	
1号汚泥脱水機	H 9.3	15	120,000			120,000		
〔汚泥処理棟〕活性炭吸着塔	H 9.3	15	22,515					22,515
設計委託費			29,578	29,578				
2号脱水機、認可変更事業費			97,520	11,020	86,500			
合計			506,962	40,598	186,267	194,001	3,711	82,385

(5) 斎場

修繕計画

(単位：千円)

修繕箇所	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
燃焼炉		1,650		750	1,650		1,650	750	1,650		
炉内台車		900			900	75	900		900		
熱電対					210				210		
排風機							80				
バグフィルター				4,000						7,000	
バーナー関係		180				600	180				
吸引装置			580				300		580		
電気計装設備	240	50	350	120	240		1,190		350		360
合計	240	2,780	930	4,870	3,000	675	4,300	750	3,690	7,000	360

※年間火葬件数 400 とした場合、これを超えると前倒しとなる可能性あり。

点検計画

(単位：千円)

点検箇所	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
火葬路設備	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
バグフィルター	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250
熱交換器	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
合計	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550